



『介護のケアシル』ボタンモジュール

使い方ガイド

本書は製品の近くにご活用ください。ボタンモジュールの基本的な使い方や、よくあるご質問の対処方法などを説明しています。

各部の名称	4
-------	---

こんなことができます	7
------------	---

設置方法	11
------	----

起動方法	16
------	----

連絡ボタン	21
-------	----

見守り機能	23
-------	----

徘徊検知	30
------	----

MCI 早期発見支援	32
------------	----

在宅介護支援	41
--------	----

端末設定方法	43
--------	----

困ったときは	57
--------	----

マニュアルの見方

お客様や他の人々への危害や財産の損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。なお、本紙には弊社製品だけでなく、弊社製品を使用するために必要な全般に関する注意事項も記載されています。本紙および添付のマニュアル類に記載されている取扱方法、および禁止事項・注意事項に反した運用で生じた本製品および接続された機器の故障／トラブルは、一切保証対象に含まれません。

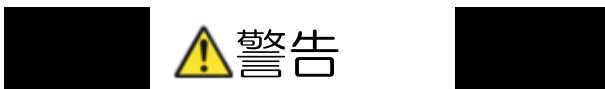
■使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

	警告 絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意 この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味

	警告・注意を促す記号です。絵記号の近くに具体的な警告内容が描かれます。
	この表示は、してはいけない事項（禁止事項）を示す記号です。絵記号の近くに、具体的な禁止事項が描かれます。
	この表示は、しなければならない行為を示す記号です。絵記号の近くに、具体的な指示内容が描かれます。



-  **禁止** ACアダプターを傷つけたり、加工、過熱、修復しないでください。火災になったり、感電する恐れがあります。
- 設置時に、ACアダプターを壁や棚などの間にはさみ込んだりしないでください。
 - 重いものをのせたり、引っ張ったりしないでください。
 - 熱器具に近づけたり、過熱したりし

ないでください。

- ACアダプターを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- 極端に折り曲げないでください。
- ACアダプターを接続したまま、機器を移動しないでください。万一、ACアダプターが傷んだら、弊社サポートセンターまたはお買い上げ販売店にご相談ください。



分解
禁止

本製品の分解や改造や修理を自分でしないでください。

- 火災・感電・故障の恐れがあります。また本製品のケースを取り外した場合、保証対象外となります。



電源
プラグを
抜く

煙が出たり変な臭いや音がしたら、ACコンセントからACアダプターを抜いてください。

- そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたはお買い上げ販売店にご相談ください。



電源
プラグを
抜く

本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。与えてしまった場合は、すぐにACコンセントからACアダプターを抜いてください。

- そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたはお買い上げ販売店にご相談ください。



AC100V(50/60Hz)以外のACコンセントにACアダプターを差し込

禁止 まないでください。
● 火災・感電・故障の恐れがあります。

強制  AC アダプターは、AC コンセントに完全に差し込んでください。
● 差し込みが不完全のまま使用すると、ショートや発熱の原因となり、火災や感電の恐れがあります。

強制  AC アダプターは必ず本製品付属のものをお使いください。
● 本製品付属以外の AC アダプターをご使用になると、電圧や端子の極性が異なることがあるため、発煙、発火の恐れがあります。

電源プラグを抜く  液体や異物などが内部に入ったら、AC コンセントから AC アダプターを抜いてください。
● そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたはお買い上げ販売店にご相談ください。

電源プラグを抜く  電源製品の内部やケーブル、コネクター類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。
● けがをする危険があります。

水場での使用禁止  本製品は防水性ではありません。風呂場など、水分や湿気の多い場所では、使用しないでください。
● 火災・感電・故障の恐れがあります。



禁止  AC アダプターが AC コンセントに接続されているときは、濡れた手で本製品を触らないでください。
● 感電の原因となります。

強制  静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属(ドアノブやアルミサッシなど)に手を触れ

て、身体の静電気を取り除くようにしてください。

● 体からの静電気は、本製品を破損させる恐れがあります。



禁止

次の場所には設置しないでください。

感電、火災の原因になったり、製品に悪影響を及ぼすことがあります。

- 強い磁界が発生するところ（故障の原因となります）
- 静電気が発生するところ（故障の原因となります）
- 震動が発生するところ（けが、故障、破損の原因となります）
- 平らでないところ（落下して、故障、破損、けがの原因となります）
- 直射日光が当たるところ（故障や誤動作、変形の原因となります）
- 火気の周辺、または熱気がこもるところ（故障や変形の原因となります）
- 漏電の危険があるところ（故障や感電の原因となります）
- 漏水の危険があるところ（故障や感電の原因となります）



強制

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従って下さい。

- 条例の内容については、地方自治体にお問合せください。
- レンタル利用の場合は、弊社サポートセンターまたはお買い上げ販売店までご連絡ください。

各部の名称

ボタンモジュールの主な操作部を説明します。

ボタンモジュール操作部



①	外出/アラーム解除 ボタン（橙色）	このボタンを押すことで見守り状態/外出状態が切り替わります。 無線接続を行う場合 WPS ボタンとして機能します。又、アラーム 状態の解除ボタンとして機能します。
②	おはようボタン（緑色）	おはようボタン機能の設定時間内に押下します。
③	お薬ボタン（青色）	お薬ボタン機能の設定時間内に押下します。
④	連絡ボタン（赤色）	このボタンを押すことで登録された連絡先にメールを送信します。
⑤	朝ご飯ボタン（橙色）	朝ご飯ボタン機能の設定時間内に押下します。
⑥	昼ご飯ボタン（緑色）	昼ご飯ボタン機能の設定時間内に押下します。
⑦	夜ご飯ボタン（青色）	夜ご飯ボタン機能の設定時間内に押下します。
⑧	はいボタン（緑色）	ケアシルからの問いかけに「はい」で回答する場合押下します。
⑨	いいえボタン（青色）	ケアシルから問いかけに「いいえ」で回答する場合押下します。

⑩	照度センサ	明るさの状態を検知するセンサです。
⑪	焦電センサ（前面）	人体の動きを検知するセンサです。
⑫	焦電センサ（下部）	人体の動きを検知するセンサです。
⑬	マイク	使用しません。
⑭	電源ケーブルコネクタ	添付の電源ケーブルを接続します。
⑮	ドアセンサコネクタ	オプションのドアセンサを接続するコネクタです。
⑯	USB コネクタ	オプションの USB デバイスを接続します。
⑰	LAN コネクタ	LAN ケーブルを接続します。

* 1 : 瞬時点滅（0.1秒点灯、0.9秒消灯の繰り返し）

ボタンモジュール本体（LED）



①	外出状態ランプ （橙色）	点灯：外出状態 消灯：見守り状態 点滅（低速）：WPS 押下待ち状態 点滅（瞬時* ¹ ）：WPS 接続処理中
②	おはようボタン LED（緑色）	おはようボタン押下の時間を点滅して知らせます。
③	お薬ボタン LED（青色）	お薬ボタン押下の時間を点滅して知らせます。
④	連絡状態ランプ （赤色）	点灯：アラーム 消灯：異常無し 点滅（低速）：システム異常
⑤	朝ご飯ボタン LED（橙色）	朝ご飯ボタン押下の時間を点滅して知らせます。
⑥	昼ご飯ボタン LED（緑色）	昼ご飯ボタン押下の時間を点滅して知らせます。
⑦	夜ご飯ボタン LED（青色）	夜ご飯ボタン押下の時間を点滅して知らせます。
⑧	はいボタン LED（橙色）	ケアシルからの問いかけ時に点滅します。

⑨	いいえボタン LED（青色）	ケアシルからの問い合わせ時に点滅します。
⑩	ステータス LED（黄色）	点灯：見守り状態 消灯：外出状態 点滅（低速）：WPS 押下待ち状態 点滅（瞬時* ¹ ）：WPS 接続処理中 点滅（高速）：センサ反応状態
⑪	異常状態 LED（赤色）	点灯：アラーム 消灯：異常無し 点滅（低速）：システム異常
⑫	電源ランプ（緑色）	電源に接続すると点灯します。
⑬	無線 LAN 状態（黄色）	無線 LAN が有効になると点灯します。
⑭	有線 LAN リンク状態（緑色）	有線 LAN のリンクが確立すると点灯します（データ転送時点滅）。

電源ケーブル

●USB AC 電源アダプタ



●電源ケーブル



ドアセンサ（オプション）

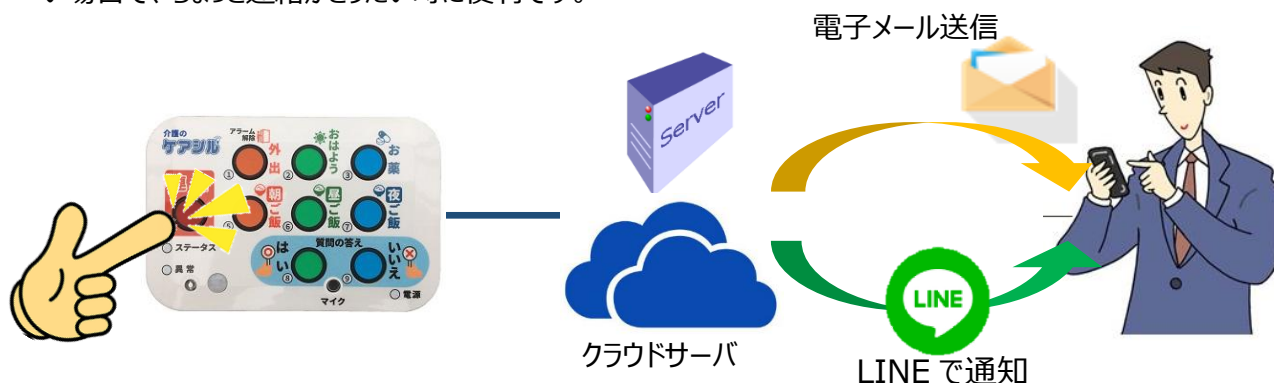
マグネットスイッチを利用したドアの開閉センサです。ドアセンサはオプションになります。



こんなことができます

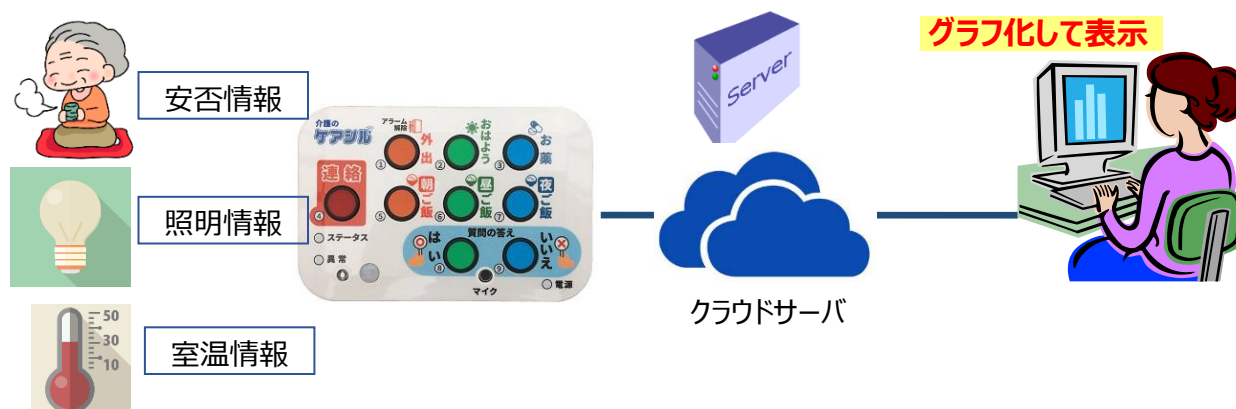
連絡ボタン機能

連絡ボタンを押すことで、あらかじめ設定された連絡先にメールを送信することができます。電話をかける程ではない場合で、ちょっと連絡がとりたい時に便利です。



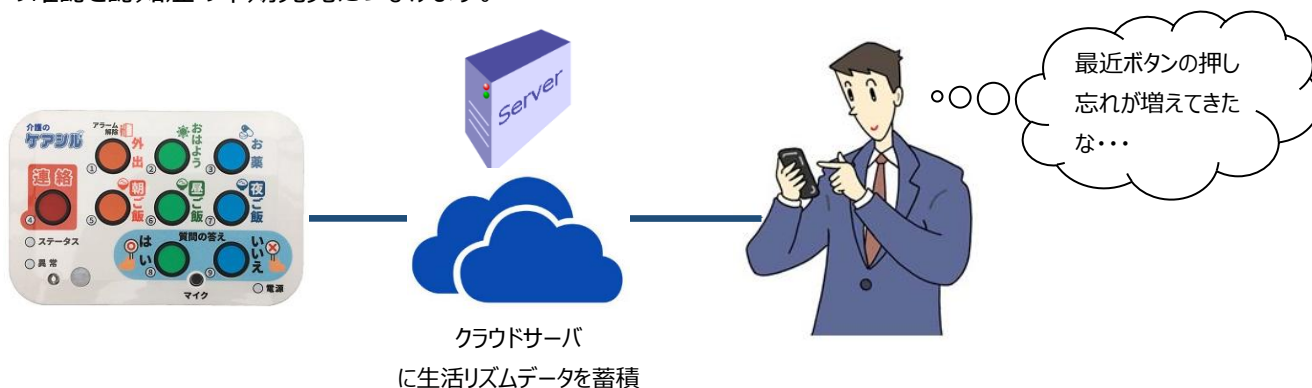
見守り機能

内蔵されたセンサを用いて異常検出時に登録された連絡先にメールでお知らせすることができます。また、クラウドサーバを用いて、見守りデータの管理やモニタがいつでもどこでも自由に行えます。



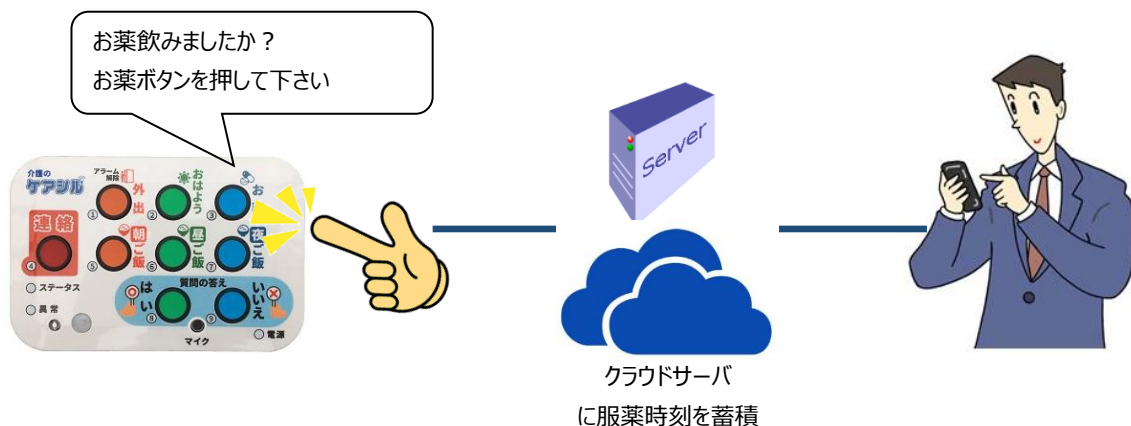
認知症の早期発見支援

本体装置に搭載された各種センサーによる収集データとボタンモジュールの押しボタン押下により日々の生活リズムの確認と認知症の早期発見につなげます。



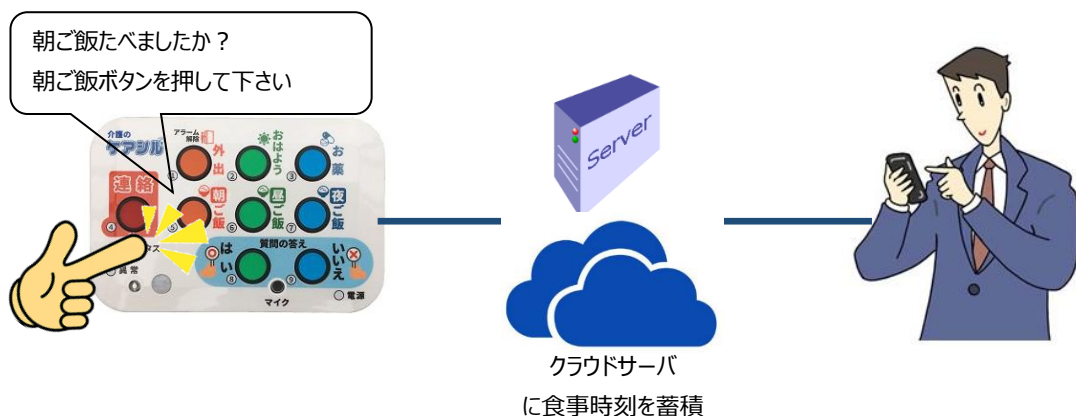
服薬管理機能

あらかじめ設定された時間になると LED の点滅と音声によって服薬を促します。また、利用者がお薬ボタンを押下することによって家族や介護者が服薬したことを確認できます。



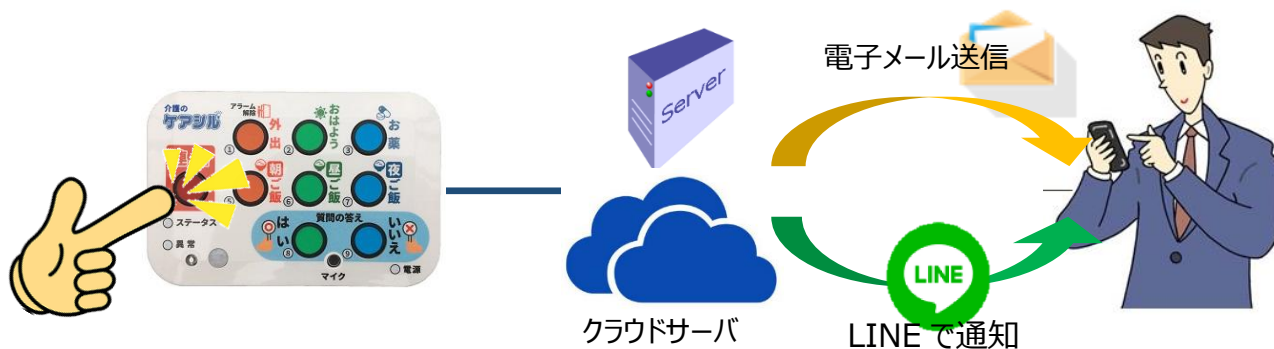
食事管理

ご飯ボタンを押下することで、食事摂取の有無、摂取時間が記録されます。また、LED の点滅と音声によって規則正しい食事の摂取を促すので生活リズムの安定を図れます。



在宅介護支援

連絡ボタンだけでなく、外出ボタン、おはようボタン、お薬ボタン、朝／昼／夜ご飯ボタン押下のタイミングで設定されたメールアドレスに対して、メール送信／LINE 通知を行います。



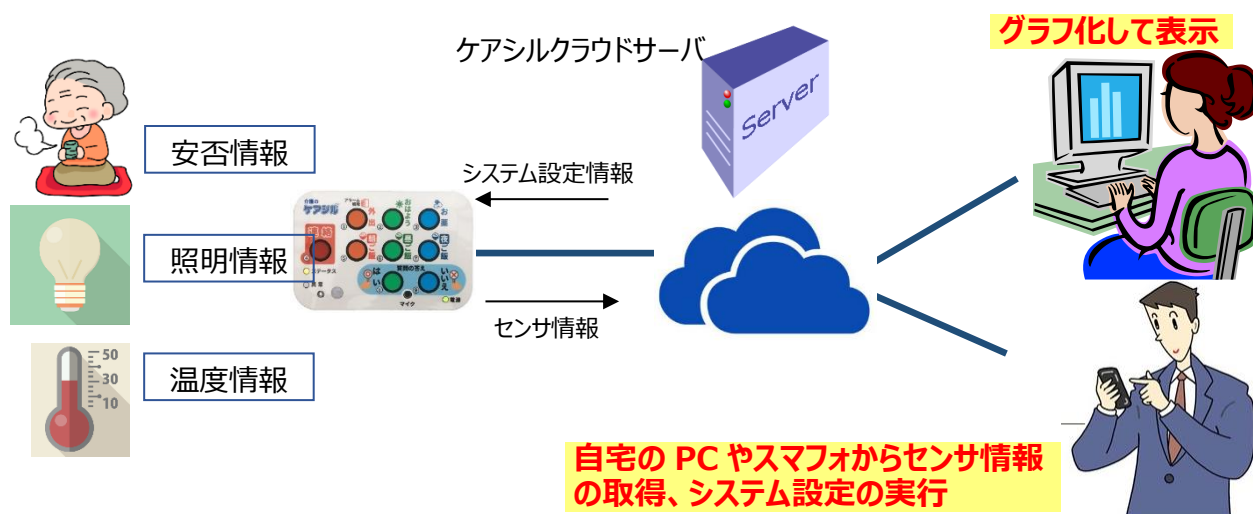
認知症予防訓練

音声によって規則正しい生活を維持するための脳トレや体操の実行を促します。また、日替わりで健康や認知機能に関するワンポイント情報を音声メッセージでお知らせします。



ケアシルクラウドによる情報共有

アイトシステムが管理するクラウドサーバ（ケアシルクラウドサーバ）にボタンモジュールが定期的にデータを送信することで、離れて暮らすご家族様や介護者は PC やスマホを用いて、ボタンモジュールの情報を簡単に確認することができます。



詳細は『ケアシル使い方ガイド～クラウドアクセス編～』を参照下さい。

設置方法

ボタンモジュールの設置方法

ボタンモジュールは就寝時間を除いて、1 日で最も長い時間居住する部屋（リビング、ダイニング等）に設置します。ボタンモジュールは、壁際の机の上や壁に貼り付けて設置し、ボタンが押しやすい状態で設置して下さい。

壁に取り付ける場合

両面テープを使ってボタンモジュールを壁に貼り付けます。モルタル等の壁であれば、添付のホッチキスを使ったフックで取り付けることも可能です。

1. 180 度開くタイプのホッチキスを用意します。添付の 8 本のステンレス製針を使って壁にフックを固定します。



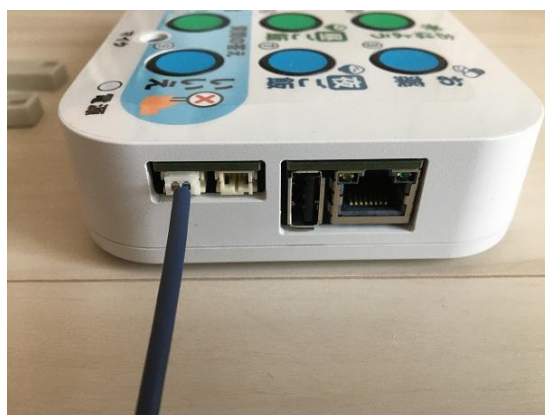
2. 上蓋を閉じます。



3. 付属の USB 電源ケーブルをボタンモジュール本体の電源ケーブルコネクタに接続します。



4. ドアセンサ（オプション）を接続する場合は、ドアセンサをボタンモジュール本体のドアセンサコネクタに接続します。又マグネットセンサ部を『ドアセンサ設置方法』に従ってドアに設置します。



5. ボタンモジュール本体の裏の中央の穴をフックに引っ掛けて設置します。



上面左下にある焦電センサで人の動きを検知します。焦電センサの前に妨げになるような障害物を置かないようにして下さい。

6. 付属の USB 電源ケーブルをボタンモジュール本体の電源ケーブルコネクタに接続します。



7. 『ネットワーク接続方法』に従ってネットワークを接続します。

8. USB アダプタをコンセントに接続します。



棚等の上に置いて使用する場合

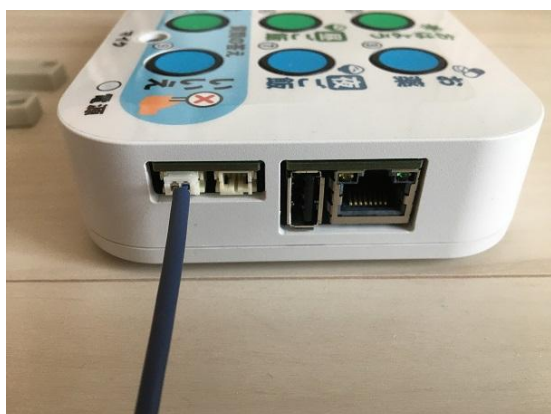
ボタンモジュールを部屋の壁際に設置された棚やタンスの上に置いた状態で使用することができます。ボタンモジュール下部にある焦電センサを用います。棚やタンスの面が焦電センサの前に妨げになるようにできるだけ手前に設置して下さい。

1. 付属の USB 電源ケーブルをボタンモジュール本体の電源ケーブルコネクタに接続します。



4. 付属の USB 電源ケーブルをボタンモジュール本体の電源ケーブルコネクタに接続します。

2. ドアセンサ（オプション）を接続する場合は、ドアセンサをボタンモジュール本体のドアセンサコネクタに接続します。又マグネットセンサ部を『ドアセンサ設置方法』に従ってドアに設置します。



5. 『ネットワーク接続方法』に従ってネットワークを接続します。
6. USB アダプタをコンセントに接続します。

3. ボタンモジュール本体を棚やタンスの上に設置します。モジュール下面にある焦電センサが部屋の中央に向くように設置します。又、ボタンモジュールの向きが変わらないように固定して下さい。



ネットワーク接続方法

ボタンモジュールは、無線 LAN、有線 LAN、モバイルルータ（オプション）のいずれか一つを用いてネットワークに接続できます。工場出荷前にあらかじめお客様の接続方法をお聞きし、電源 ON 時には所望のネットワーク接続で起動します。

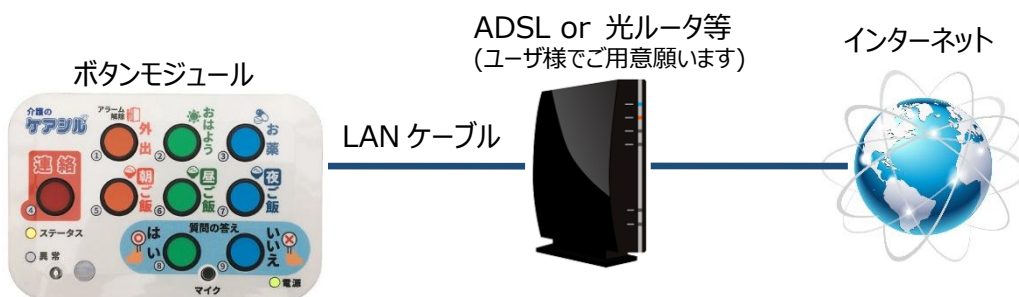
無線 LAN 接続時

自宅の無線ルータを用いて無線接続を行います。WPS を用いて ID の自動取得を行うか、もしくは SSID/KEY を設定します。無線 LAN 対応の PC やスマートフォンからボタンモジュールの設定管理が可能です。



有線 LAN 接続時

自宅のルータにイーサネットケーブルを用いて接続します。DHCP を用いて IP の自動取得を行います。ルータに接続された PC からボタンモジュールの設定管理が可能です。



モバイルルータ接続時

オプションのモバイルルータに接続してネットワーク接続を行います。設置場所にインターネット環境が無くても、電源を入れるだけで、ご利用可能です。



ドアセンサ（オプション） 設置方法

オプションのドアセンサを接続すると、ドアの開閉を検知することが可能となり、普段使用するトイレや冷蔵庫のドアの開閉が無くなったこと検知することで住人の見守りをすることができます。又玄関のドアに設置することにより、外出/帰宅を検知し、外出モード/見守りモードの自動検出をすることもできます。

ボタンモジュールとドアセンサ取り付け位置を考慮してドアセンサのケーブル長を選択して下さい。

1. ドアセンサを設置する場所を決めます。ドアの上部等目立たない場所を選びます。マグネットスイッチのマグネット部をドア側に、マグネットセンサ（ケーブルが接続されている）側をドア枠部に両面テープを用いて接着します。
3. ドアセンサのコネクタをボタンモジュール本体のドアセンサコネクタに接続します。コネクタ接続時はボタンモジュール本体の電源を切断した状態で接続してください。



2. ドアセンサからのケーブルを適所固定し、ボタンモジュール設置場所まで敷設します。



※ドアセンサのケーブル長は1 m～10 mまで1 m単位で用意可能です。

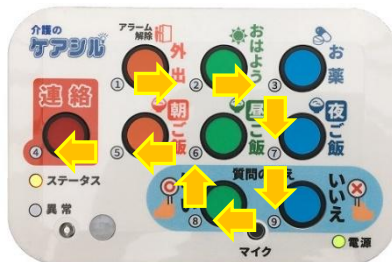
起動方法

ボタンモジュールは工場出荷前にあらかじめお客様の接続方法をお聞きし、電源 ON 時には所望のネットワーク接続で起動するため、特別な操作は不要です。以下は、お客様で設定変更する場合にご参照ください。

無線 LAN 接続時

SSID/KEY 登録済の場合

1. ボタンモジュールの電源を入れます。
(電源ランプが点灯します)
2. 約 1 分程度で「外出」⇒「おはよう」⇒「お薬」⇒「夜ご飯」⇒「いいえ」⇒「はい」⇒「昼ご飯」⇒「朝ご飯」⇒「連絡」の順番に LED が高速点滅します。
3. 更に約 1 分程度でボタン LED の点滅は終了し、音声メッセージが出力され、見守り状態が開始されます。焦電センサが反応するとステータスランプ（黄色）高速点滅します。



点滅状態 →



※無線 LAN でご使用の場合、出荷時にあらかじめお聞きした SSID/KEY が設定されています。

※SSID/KEY を変更する場合は、『端末設定方法』の WiFi 設定 [\[50 ページ\]](#) に従い変更して下さい。無線 LAN に接続できない場合は有線 LAN 接続を用いて接続してください。

SSID/KEY 未登録の場合（WPS 接続）

1. ボタンモジュールの電源を入れます。

（電源ランプが点灯します）

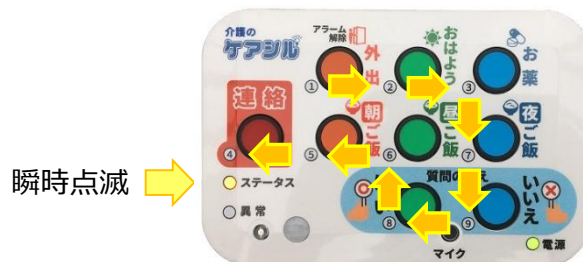
2. 約 1 分程度で WPS 接続を促す、音声メッセージが出力され、ステータスランプ（黄色）と外出（アラーム解除）ボタンの LED が低速点滅（0.5 秒点灯、0.5 秒消灯）します。



3. 無線 LAN ルータの WPS ボタンを押します（無線 LAN ルータの WPS 接続は無線 LAN ルータの説明書に従って下さい）。
4. ボタンモジュールの外出（アラーム解除）ボタンを押します。



5. ステータスランプ（黄色）が瞬時点滅（0.1 秒点灯、0.9 秒消灯の繰り返し）し、「外出」⇒「おはよう」⇒「お薬」⇒「夜ご飯」⇒「いいえ」⇒「はい」⇒「昼ご飯」⇒「朝ご飯」⇒「連絡」の順番に LED が高速点滅します。



6. 更に約 1 分程度でボタン LED の点滅は終了し、音声メッセージが出力され、見守り状態が開始されます。焦電センサが反応するとステータスランプ（黄色）高速点滅します。



※ボタンモジュールの電源を OFF した場合、KEYID は保存されないため上記手順を再度実行下さい。

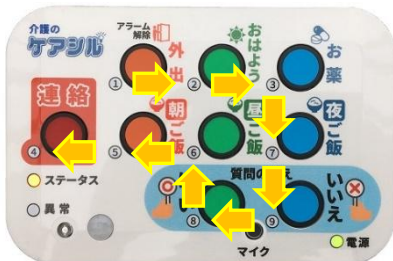
※WPS を使用せず、ボタンモジュールを起動する場合は、WPS 接続もしくは LAN 接続を用いて、ボタンモジュールに接続し、『端末設定方法』の WiFi 設定画面 [50 ページ] から SSID/KEY を設定下さい。電源 ON 後、WPS ボタンを押さなくても起動できるようになります。

LAN 接続時

DHCP 接続の場合

1. ボタンモジュールの SSID/KEY が設定されていて、近くに対応する無線 LAN ルータがある場合、無線 LAN 接続が優先されます。有線 LAN でスタティック IP 接続する場合は、ボタンモジュールの SSID/KEY をリセットしておく必要があります（工場出荷状態で DHCP LAN 接続を選択している場合は、設定不要です）。
2. ボタンモジュールの電源を入れます。
（電源ランプが点灯します）
3. 約 1 分程度で「外出」⇒「おはよう」⇒「お薬」⇒「夜ご飯」⇒「いいえ」⇒「はい」⇒「昼ご飯」⇒「朝ご飯」⇒「連絡」の順番に LED が高速点滅します。
4. 更に約 1 分程度でボタン LED の点滅は終了し、音声メッセージが出力され、見守り状態が開始されます。焦電センサが反応するとステータスランプ（黄色）高速点滅します。

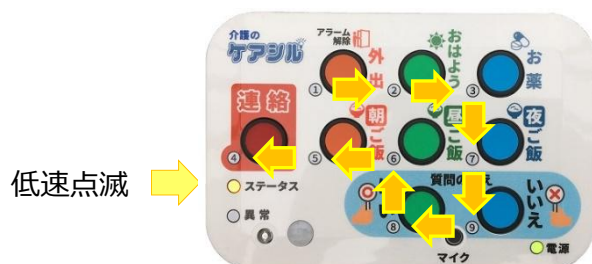
点滅状態



※ルータ機器の設定で DHCP を有効にしておく必要があります。

スタティック IP 接続の場合

1. 有線 LAN でスタティック IP 接続する場合※は、ボタンモジュールの SSID/KEY をリセットし、WPS による無線接続を無効にして下さい。又 LAN の DHCP 接続を無効にして下さい。
(工場出荷状態でスタティック IP 接続を選択している場合は、これらの設定は不要です)。
2. ボタンモジュールの電源を入れます。
(電源ランプが点灯します)
3. 約 1 分後、ステータスランプ（黄色）が低速点滅（0.5 秒点灯、0.5 秒消灯）し、「外出」⇒「おはよう」⇒「お薬」⇒「夜ご飯」⇒「いいえ」⇒「はい」⇒「昼ご飯」⇒「朝ご飯」⇒「連絡」の順番に LED が高速点滅します。
4. 60 秒以内に、ボタンモジュールの外出（アラーム解除）ボタンを押します。
5. 約 1 分程度でボタン LED の点滅は終了し、音声メッセージが出力され、見守り状態が開始されます。焦電センサが反応するとステータスランプ（黄色）高速点滅します。



点滅状態 →



6. 設定されている IP アドレス（初期状態は 192.168.1.119）で起動し、見守り状態が開始されます。

※『端末設定方法』の WiFi 設定画面 [50 ページ] で、ボタンモジュールの『接続先ルータ SSID』、『接続先ルータ KEY』をリセットし、『☐ WPS を利用して SSID/Key を取得する』のチェックボックスをはずして、無線接続を無効にして下さい。又 LAN 設定の『☐ DHCP サーバを利用する』のチェックボックスをはずして下さい

※あらかじめお客様からお聞きした IP アドレスで起動します。デフォルト値は 192.168.1.119 です。

※間違った IP アドレスを設定すると、ボタンモジュールに接続できなくなり、無線 LAN や DHCP への変更ができなくなります。その場合、上記『4. 60 秒以内に、ボタンモジュールの外出（アラーム解除）ボタンを押します。』の設定時、ボタンモジュールの外出（アラーム解除）ボタンをブザー音が消えるまで長押し（5 秒）すると、DHCP による接続を行います。

起動通知

DHCP でネットワーク接続を行った場合、ボタンモジュールが取得した IP アドレスを知るためには、ルータにアクセスして払い出し IP アドレスを調べる必要があります。このため、ボタンモジュールは電源 ON 時、登録されたメールアドレスに取得した IP アドレスを通知する機能を持っています。起動通知を受け取るために、careshiru@aitosys.com からのメールをブロックしないようにして下さい。

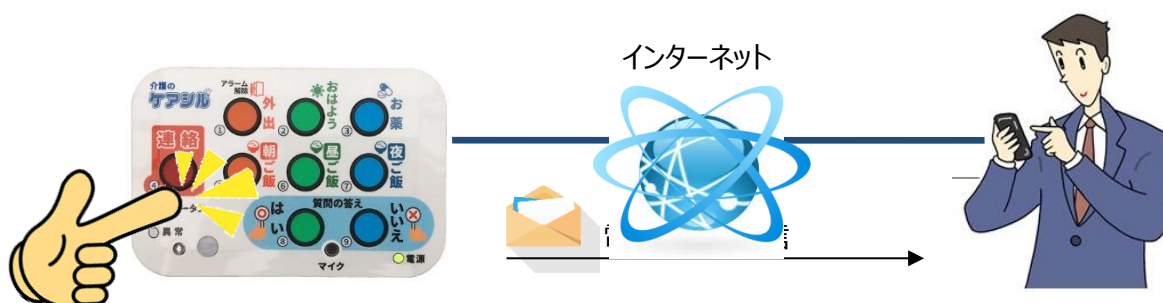
送信先のメールアドレスの変更は、

『ケアシル使い方ガイド 〜クラウドアクセス編〜』メール設定（起動通知）を参照下さい

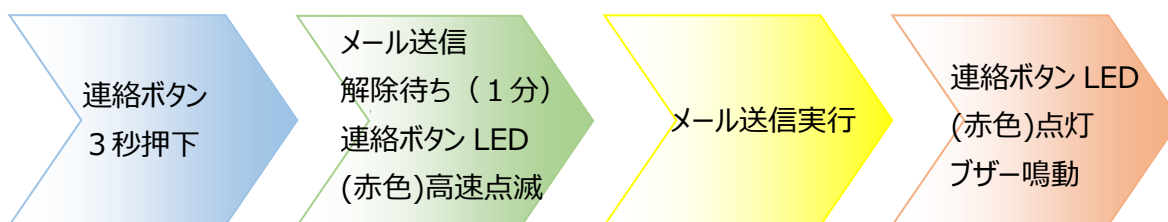
連絡ボタン

連絡ボタン機能

連絡ボタンを押すことで、あらかじめ設定された連絡先にメールや LINE メッセージを送信することができます。



間違ってメール送信を行わないようにメール送信実行まで以下の処理を行います。



※メール送信解除待ちの間に外出/アラーム解除ボタンを押下すると、連絡機能（メール送信）を中止します。

メール送信解除待ち時間は 0 秒～ 1 分の間で変更可能です。

⇒ 『ケアシル使い方ガイド ～クラウドアクセス編～』 連絡送信保護時間を参照下さい。

連絡ボタン押下によるメール送信

連絡先（メール送信先）の登録

連絡ボタン押下時のメール送信先アドレスは最大 8 アドレスまで登録可能です。

⇒ 『ケアシル使い方ガイド ～クラウドアクセス編～』 メール設定 を参照下さい。

メール再送間隔と再送回数

連絡ボタン押下時のメール送信で解除動作がされない場合、メール送信の再送を行います（解除条件は次項メール再送解除条件を参照下さい）。メールの再送間隔と再送回数を設定できます。

メール再送間隔：5 分 / 10 分 / 30 分 / 1 時間 / 4 時間 / 8 時間 / 12 時間 / 24 時間

メール再送回数：再送無し / 1 ～ 8 回 / 制限無し

⇒ 『ケアシル使い方ガイド ～クラウドアクセス編～』システム設定（連絡ボタン設定）を参照下さい。

メール送信解除条件

連絡ボタン押下時の解除条件を選択可能です。連絡ボタン押下時の解除条件は以下の4条件が設定可能です。

- (1)外出/アラーム解除ボタン押下
- (2)連絡ボタン押下
- (3)緊急メール送信完了
- (4)WebUI による連絡ボタンアラーム解除

⇒ 『ケアシル使い方ガイド ～クラウドアクセス編～』システム設定（連絡ボタン設定）を参照下さい。

見守り機能

焦電センサ、ドアセンサ（オプション）、照明センサ、温度センサの各種センサにより、住人の見守りを行います。

見守りモードと外出モード

外出時はボタンモジュールのセンサに反応しないため、見守り状態を解除する必要があります。見守り状態を解除/設定するには、外出ボタンを押下します。外出ボタンの押下で見守り状態/外出状態が反転します。外出モード中は全てのセンサ（焦電センサ、ドアセンサ（オプション）、照明センサ、温度センサ）による見守りが保留状態となります。見守り状態の時は、外出状態ランプが消灯し、外出モードでは外出状態ランプが点灯します。



見守りモード/外出モードの切り替えはケアシルクラウド又は設定画面からでも変更可能です。

⇒ 『ケアシル使い方ガイド ～クラウドアクセス編～』 システム設定（外出モード/見守りモード切り替え）を参照下さい

オプションのドアセンサを玄関のドアに設置することで見守りモードと外出モードを自動的に切り替えることができます（この場合ドアセンサによる見守り動作はできなくなります）。

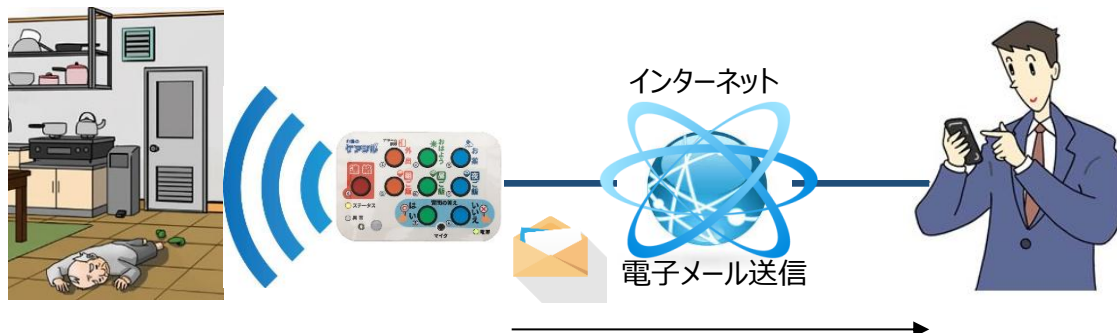


⇒ 『ケアシル使い方ガイド ～クラウドアクセス編～』 システム設定（見守り設定）を参照下さい。

焦電センサによる見守り

機能概要

ボタンモジュールに搭載された焦電センサは赤外線による温度変化を捉えることで、高精度で人の動きを検出します。一定時間焦電センサの反応がなかった場合、住人の異常と判断します。



見守り異常検出時間

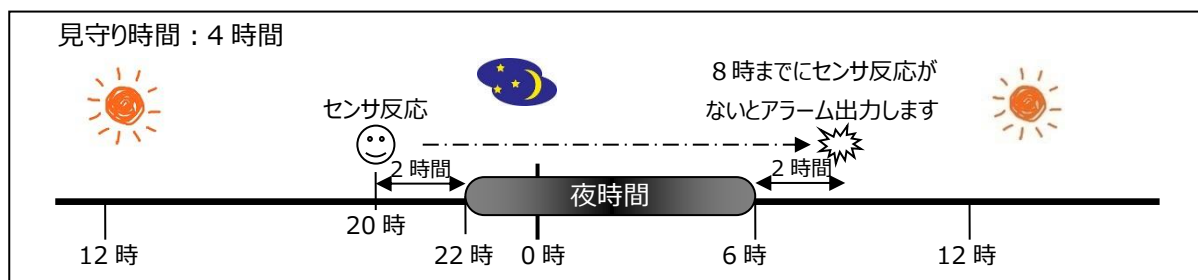
見守り異常検出時間（見守り異常と判断する時間）は変更することができます。見守り異常検出時間を短くすると、誤検出によるメール送信が多くなります。又、見守り異常検出時間を長くすると、異常が発生した際、発見までの時間が長くなります。通常 8 時間程度で設定することをお勧めします。

⇒ 『ケアシル使い方ガイド ～クラウドアクセス編～』システム設定（判定時間設定）を参照下さい

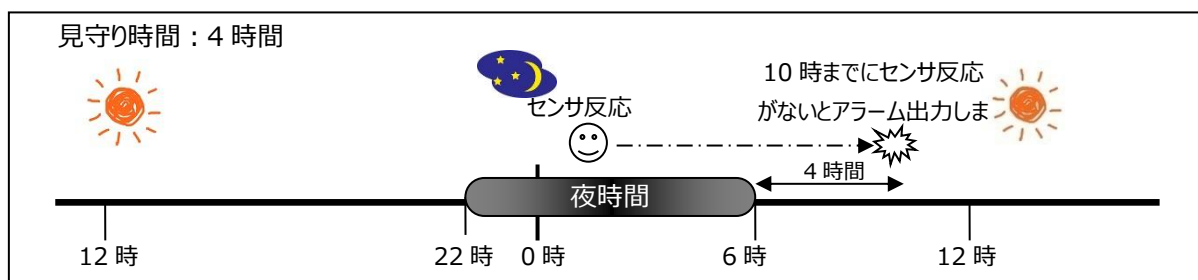
夜時間設定

就寝中はボタンモジュール設置場所によっては、焦電センサに反応しない場合があるため、見守り異常検出を止める必要があります。夜時間を設定することで、就寝中の見守り異常検出を一時停止することが可能です。

●夜時間中にセンサ反応がなかった場合



●夜時間中にセンサ反応があった場合

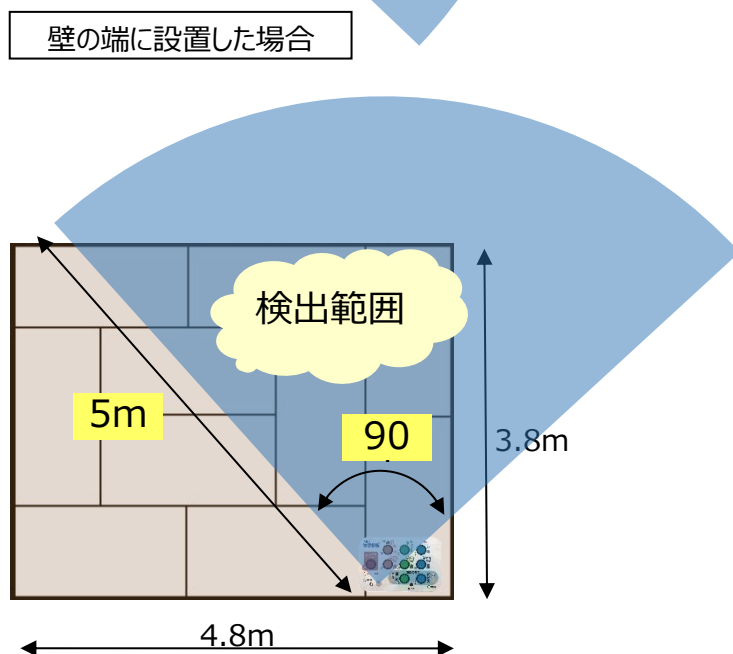
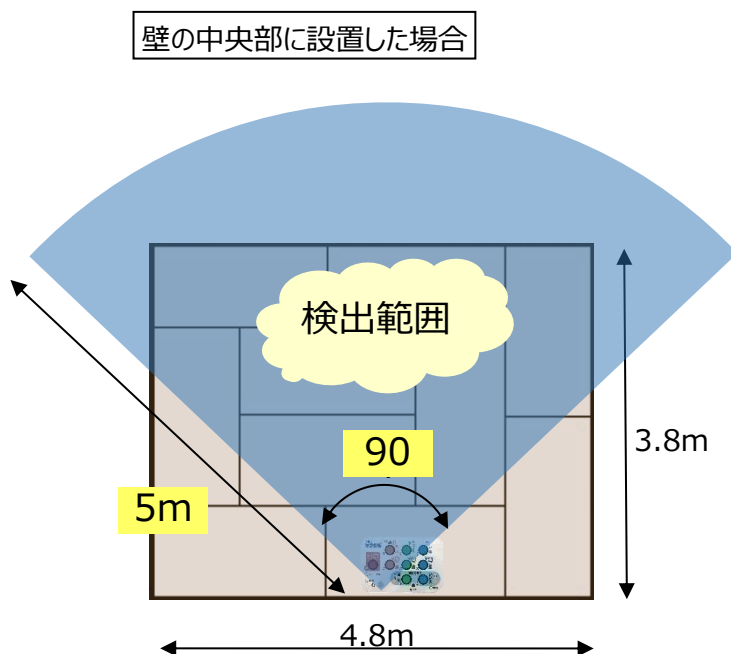
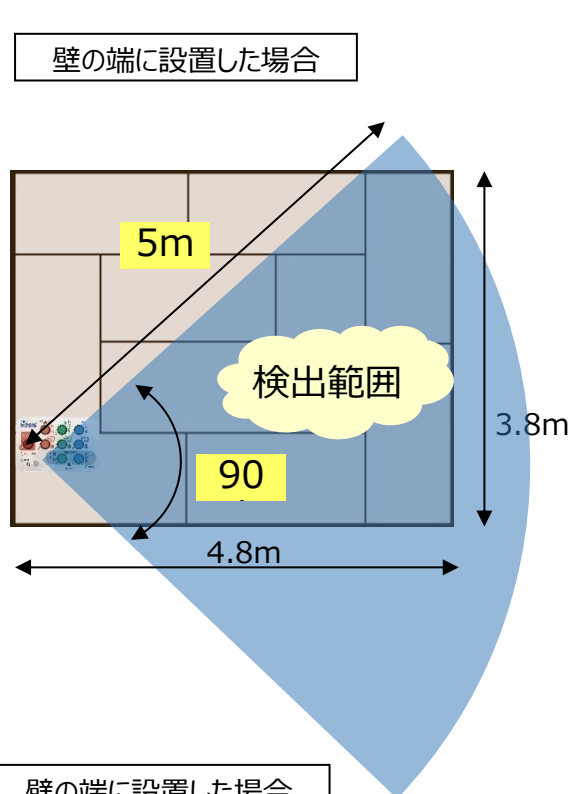
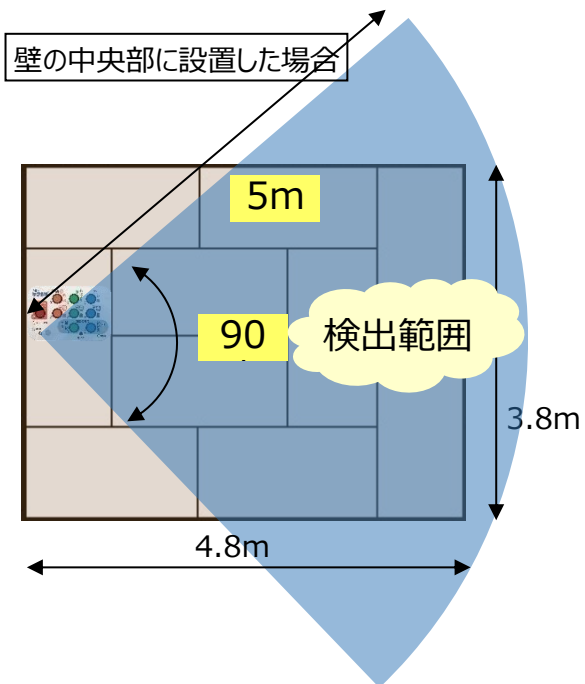


⇒ 『ケアシル使い方ガイド ～クラウドアクセス編～』システム設定（判定時間設定）を参照下さい。

検出範囲

焦電センサの検出範囲は、検出角度が 90 度、検出距離は 5 m です。人の動作が検出範囲内に入るように設置します。部屋の角部に設置すると検出範囲が狭くなります。できるだけ部屋壁の中央部に設置するようにして下さい。

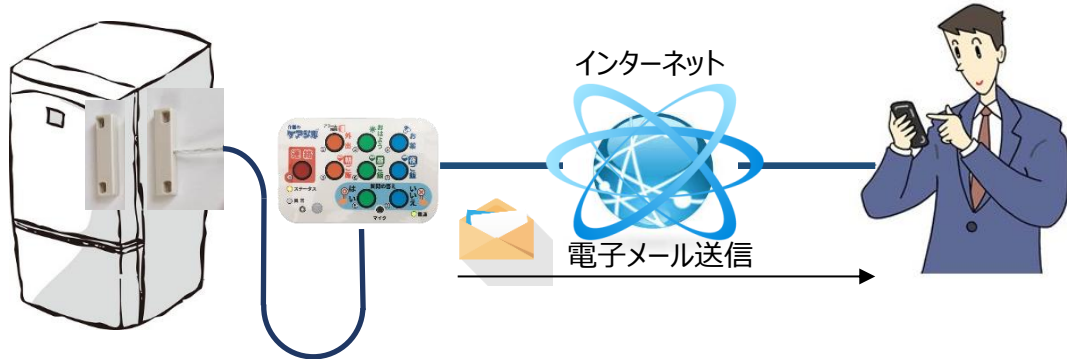
● 10 畳部屋での設置例



ドアセンサ（オプション）による見守り

機能概要

ドアセンサ（オプション）はマグネットスイッチよりドアの開閉を検出します。一日に複数回使用するドア（トイレのドアや冷蔵庫のドア等）に対して設置することで住人の見守りを行います。



見守り異常検出時間

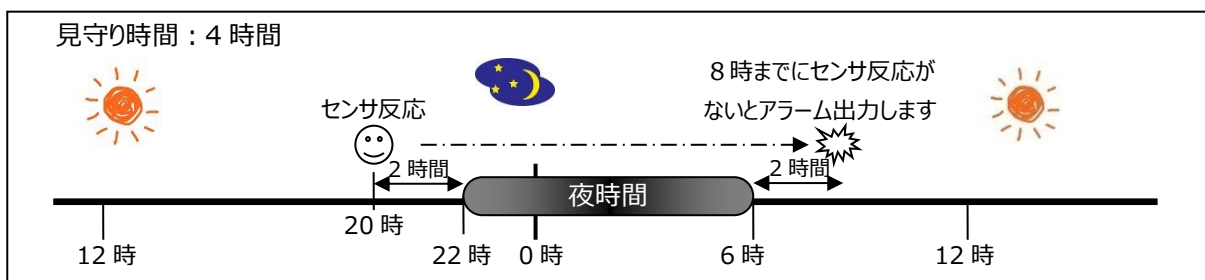
見守り異常検出時間（見守り異常と判断する時間）は変更することができます。見守り異常検出時間を短くすると、誤検出によるメール送信が多くなります。又、見守り異常検出時間を長くすると、異常が発生した際、発見までの時間が長くなります。通常 8 時間程度で設定することをお勧めします。

⇒ 『ケアシル使い方ガイド ～クラウドアクセス編～』システム設定（判定時間設定）を参照下さい。

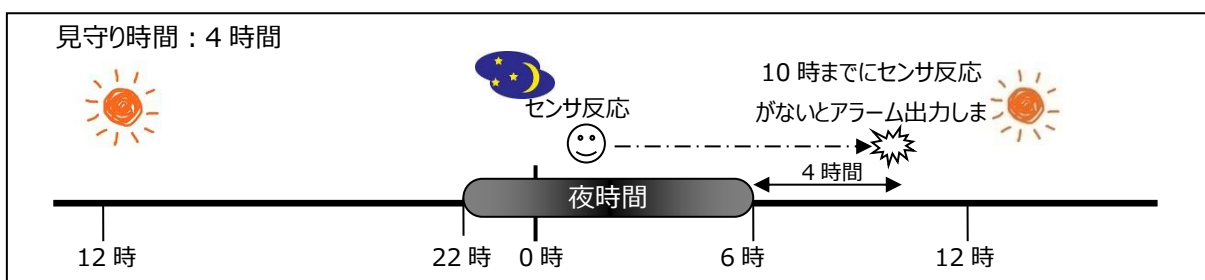
夜時間設定

就寝中はドアセンサ（オプション）に反応しない場合があるため、見守り異常検出を止める必要があります。夜時間を設定することで、就寝中の見守り異常検出を一時停止することが可能です。

● 夜時間中にセンサ反応がなかった場合



● 夜時間中にセンサ反応があった場合



⇒ 『ケアシル使い方ガイド ～クラウドアクセス編～』システム設定（判定時間設定）を参照下さい。

見守り/外出モード切替え

ドアセンサ（オプション）を玄関のドアに設置することで見守りモードと外出モードを自動的に切り替えることができます（この場合ドアセンサによる見守り動作はできなくなります）

⇒『ケアシル使い方ガイド ～クラウドアクセス編～』システム設定（判定時間設定）を参照下さい。

照明センサによる見守り

機能概要

照度センサにより、居室内の照明の点灯状態を監視します。深夜の照明が消された状態であるはずの部屋の照明が点灯している場合、異常とみなして異常メールを送信します。



見守り時刻と継続時間

照度センサによる、居室内の照明の点灯を見守りする時刻と継続時間を設定します。見守り時刻は、就寝している時間帯の時刻を設定します（深夜 2 ～ 3 時を推奨）。トイレ等で照明を点灯する可能性があるため、継続時間を過ぎた場合のみ異常とみなします。

見守り時刻 : 0 ～ 2 3 時

継続時間 : 1 ～ 4 時間

⇒『ケアシル使い方ガイド ～クラウドアクセス編～』システム設定（判定時間設定）を参照下さい。

照明点灯照度閾値

照度センサで、居室内の照明の点灯状態と判断する照度を設定します。1（暗い）～10（明るい）の10段階で設定します。

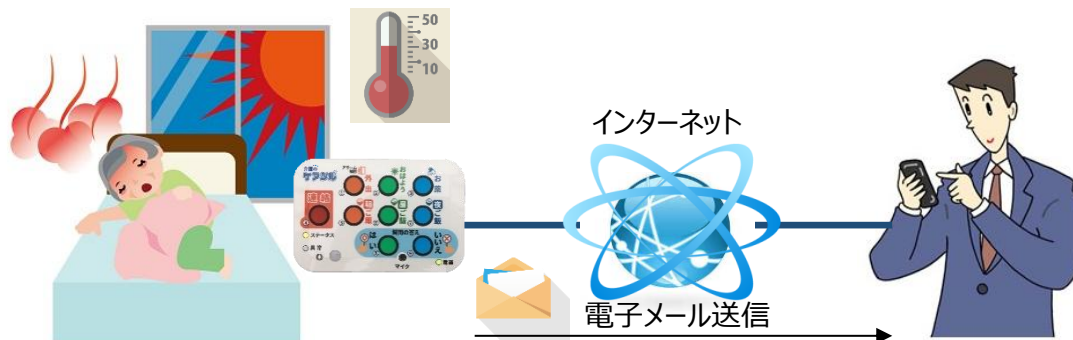
照明点灯閾値 : 1（暗い）～10（明るい）

⇒『ケアシル使い方ガイド ～クラウドアクセス編～』システム設定（判定時間設定）を参照下さい。

温度センサによる見守り

機能概要

温度センサにより、居室内の気温をモニタします。居室内の気温が設定値より高くなると見守り異常メールを送信します。



※測定温度は設置環境により誤差があります。風の影響を受ける為、ボタンモジュールは無風状態となる場所に設置して下さい。

検出温度閾値

温度センサによる、温度異常アラームを検出する温度を設定します。

検出温度閾値 : 25℃～40℃

⇒ 『ケアシル使い方ガイド ～クラウドアクセス編～』システム設定（検出温度閾値）を参照下さい。

再アラーム発出保護時間

温度は、ゆっくりと変化するため、検出温度閾値を超えて温度異常アラームを検知した後、ほんの少し温度が下がり又すぐに検出温度閾値を超えて温度異常アラームを検出することが起こります。この為、一度温度異常アラームを検出すると、保護時間を設けて次の温度異常アラームを検出するようにしています。

再アラーム保護時間 : 1時間～24時間

⇒ 『ケアシル使い方ガイド ～クラウドアクセス編～』システム設定（検出温度閾値）を参照下さい。

見守り異常によるメール送信

連絡先（メール送信先）の登録

見守り異常時のメール送信先アドレスは最大 8 アドレスまで登録可能です。

⇒ 『ケアシル使い方ガイド ～クラウドアクセス編～』メール設定を参照下さい。

メール再送間隔と再送回数

見守り異常時のメール送信で解除動作がされない場合、メール送信の再送を行います（解除条件は次項メール再送解除条件を参照下さい）。メールの再送間隔と再送回数を設定できます。

メール再送間隔：5 分 / 10 分 / 30 分 / 1 時間 / 4 時間 / 8 時間 / 12 時間 / 24 時間

メール再送回数：再送無し / 1 ～ 8 回 / 制限無し

⇒ 『ケアシル使い方ガイド ～クラウドアクセス編～』システム設定（見守り異常メール再送方法）を参照下さい。

メール送信解除条件

見守り異常時の解除条件を選択可能です。見守り異常時の解除条件は以下の 3 条件が設定可能です。

- (1)外出/アラーム解除ボタン押下
- (2)見守り異常メール送信完了
- (3)WebUI による見守りアラーム解除

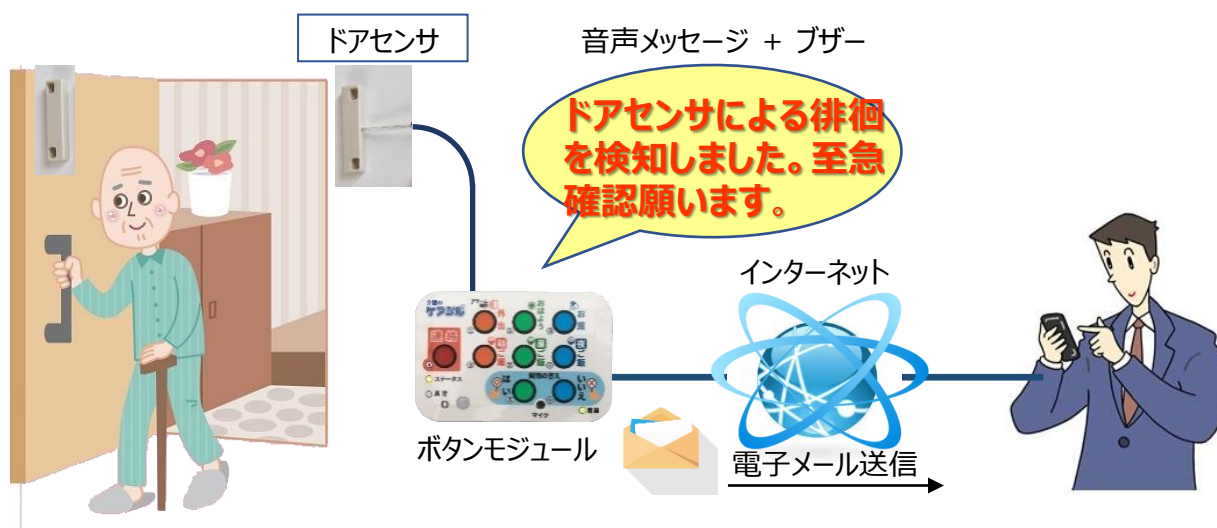
⇒ 『ケアシル使い方ガイド ～クラウドアクセス編～』システム設定（見守り異常メール解除方法）を参照下さい。

徘徊検知

ボタンモジュールに接続したドアセンサを使って徘徊検知機として利用可能です。

徘徊検知機能

ドアセンサを普段利用する玄関ドアに取付てボタンモジュールに接続します。ドアの開閉を検知すると、ブザーと音声メッセージが出力され、設定されたメールアドレスに電子メールを送信します。徘徊検出状態を解除するには『外出ボタン』を押下します。



連絡先（メール送信先）の登録

徘徊検知時のメール送信先アドレスは最大 8 アドレスまで登録可能です。

⇒ 『ケアシル使い方ガイド ～クラウドアクセス編～』メール設定を参照下さい。

徘徊検知保護時間

介護者や家族様が外部からドアを開閉した場合に、徘徊検知を一時停止するために、ドアセンサでドアの開閉を検出してから徘徊検知状態とするまでの猶予時間を設定することが可能です。猶予時間中は、異常ランプが高速点滅します。猶予時間内に外出ボタンを押下すると徘徊見守り状態に戻ります。徘徊検知保護時間を長くすると対象者の徘徊を検知するタイミングが遅くなります。できるだけ短い時間を設定するようにします。

徘徊検知保護時間：0 秒 / 10 秒 / 20 秒 / 30 秒 / 1 分 / 2 分 / 3 分 / 5 分 / 10 分

⇒ 『ケアシル使い方ガイド ～クラウドアクセス編～』システム設定（徘徊検知保護時間）を参照下さい。

徘徊検知停止時間

介護者や家族様が外出する場合、ドアを開閉による徘徊検知を一時的に停止することが可能です。外出ボタンを**長押し**すると、ドアセンサが反応しても徘徊検知を一時的に停止します。徘徊検知停止時間を過ぎると、通常に徘徊見守り状態になります。徘徊検知保護時間を長くすると対象者が徘徊を開始した時に徘徊を検出できない可能性が高くなります。できるだけ短い時間を設定するようにします。

徘徊検知停止時間：0 秒 / 10 秒 / 20 秒 / 30 秒 / 1 分 / 2 分 / 3 分 / 5 分 / 10 分

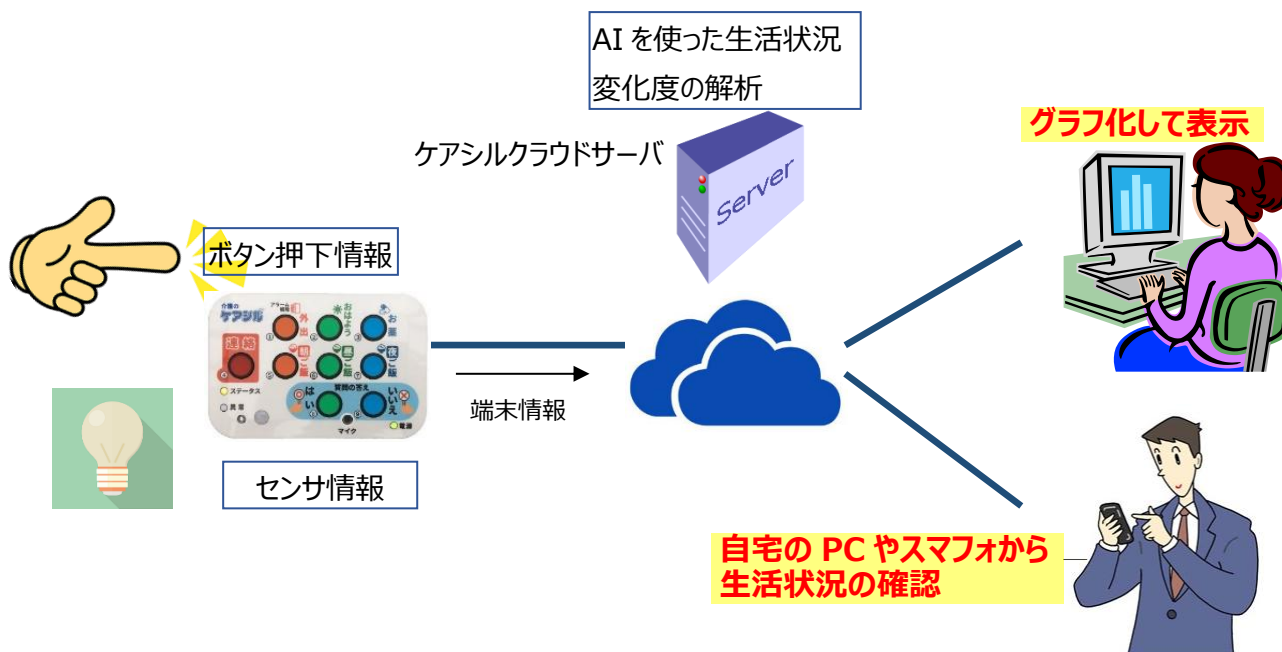
⇒ 『ケアシル使い方ガイド ～クラウドアクセス編～』システム設定（徘徊検知停止時間）を参照下さい。

MCI 早期発見支援

ボタンモジュールに搭載された各種センサ情報と、ボタン押下情報から認知症や MCI の早期の気づきを促し、介護者や家族と共にデータを共有することで、認知症の早期発見支援を行います。

生活状況変化度

日々の暮らしの中で決まり事としてボタンモジュールのボタンを押して頂きます。ボタンの押下情報は、センサ情報と共にアイトシステムが管理するクラウドサーバ（ケアシルクラウドサーバ）に生活状況データとして蓄積されます。日々の暮らしの中での生活状況の変化はほんのわずかの為、その変化度を捉えることは非常に困難ですが、月単位、年単位で解析を行うことで、生活状況の変化度を可視化することが可能となります。



ボタン押下による生活リズムの改善

高齢化により、外出する機会が減ることで、一日の生活はどうしても単調になりがちです。又、一方で夜更かしや、起床時間や食事時間の乱れは認知症リスクを高める要因となります。ケアシルは、ボタンボジュールのボタンを押下することで、生活リズムを整え、認知症リスクの改善につなげます。

又、ボタンモジュールが、音声メッセージで、日々の TV 体操への参加や脳トレの実行を促し、認知症予防の手助けを行います。

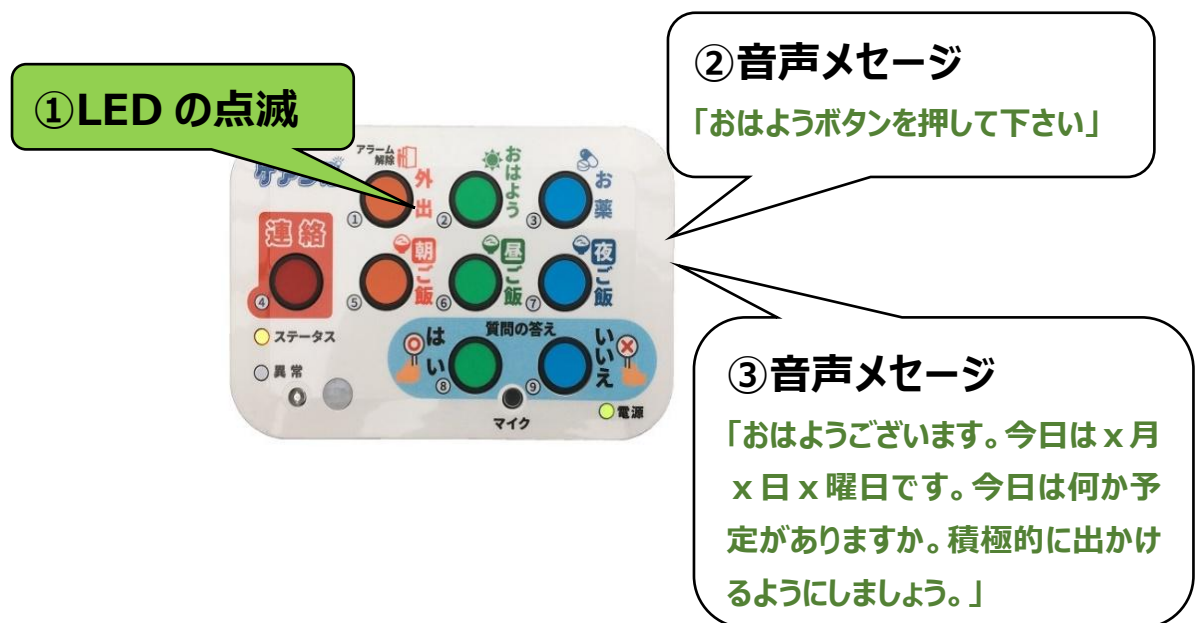
AI を使った生活状況変化度の解析

クラウドに蓄積されたボタン情報やセンサ情報の過去のデータと現在のデータを比較することで、様々なことが見えてきます。しかしながらそれらの情報を一つひとつ人の目で確認するためには大変な手間と時間が必要です。ケアシルは AI を活用し、クラウドに蓄積されたデータを解析し、生活状況の変化度を一目で判定できるようになっています。



起床時間管理

朝、決められた時間になると、「おはようボタン」の押下を促す LED が点滅開始します (①)。LED の点滅で一定時間「おはようボタン」が押されなかった場合、ボタンモジュールの人感センサに反応して「おはようボタン」の押下を促す音声メッセージが流れます (②)。



「おはようボタン」が押されると、その日の日付情報と朝のメッセージが流れます (③)。

LED 点滅開始時刻と音声メッセージ時刻

LED の点滅開始時刻と音声メッセージ開始時刻及び終了時刻を指定します。又、音声メッセージ音量と音声メッセージ繰り返し間隔も指定可能です。

LED の点滅開始時刻 : 00時00分 ～ 23時50分 (10分単位)
 音声メッセージ開始時刻 : 00時00分 ～ 23時50分 (10分単位)
 音声メッセージ終了時刻 : 00時00分 ～ 23時50分 (10分単位)

音声メッセージ音量 : 0 ～ 9 段階

音声メッセージ繰り返し間隔 : 10 秒/20 秒/30 秒/1 分/2 分/3 分/5 分/10 分/20 分/30 分/1 時間

⇒ 『ケアシル使い方ガイド ～クラウドアクセス編～』ボタンモジュール設定（おはよう設定）を参照下さい。

おはようボタン押下状況確認

パソコンやスマホから、ケアシルクラウドにアクセスすると、おはようボタンの押下状況を確認することができます。



詳しくは 『ケアシル使い方ガイド ～クラウドアクセス編～』クラウドホーム（ホームメイン画面）を参照下さい。

服薬管理

決められた、服薬時間になると、「お薬ボタン」の押下を促す LED が点滅開始します (①)。LED の点滅で一定時間「お薬ボタン」が押されなかった場合、ボタンモジュールの人感センサに反応して「お薬ボタン」の押下を促す音声メッセージが流れます (②)。

① LED の点滅



② 音声メッセージ

「お薬飲みましたか。お薬ボタンを押して下さい」

③ 音声メッセージ

「お薬、忘れずに飲みましたね。次のお薬は昼食の食後です。」

「お薬ボタン」が押されると、次に服薬種別をお知らせします (③)。

服薬種別

お薬ボタンでお知らせする服薬種別は以下の10種類が設定可能です。

- 朝食前食間 : 起床から朝食までの間の食間に服薬するお薬を指定します。
- 朝食食前 : 朝食の食前に服薬するお薬を指定します。
- 朝食食後 : 朝食の食後に服薬するお薬を指定します。
- 昼食前食間 : 朝食と昼食の食間に服薬するお薬を指定します。
- 昼食食前 : 昼食の食前に服薬するお薬を指定します。
- 昼食食後 : 昼食の食後に服薬するお薬を指定します。
- 夕食前食間 : 昼食と夕食の食間に服薬するお薬を指定します。
- 夕食食前 : 夕食の食前に服薬するお薬を指定します。
- 夕食食後 : 夕食の食後に服薬するお薬を指定します。
- 就寝前 : 就寝前に服薬するお薬を指定します。

LED 点滅開始時刻と音声メッセージ時刻

LED の点滅開始時刻と音声メッセージ開始時刻及び終了時刻を指定します。又、音声メッセージ音量と音声メッセージ繰り返し間隔も指定可能です。

- LED の点滅開始時刻 : 00時00分 ~ 23時50分 (10分単位)
- 音声メッセージ開始時刻 : 00時00分 ~ 23時50分 (10分単位)
- 音声メッセージ終了時刻 : 00時00分 ~ 23時50分 (10分単位)
- 音声メッセージ音量 : 0 ~ 9 段階
- 音声メッセージ繰り返し間隔 : 10 秒/20 秒/30 秒/1 分/2 分/3 分/5 分/10 分/20 分/30 分/1 時間

⇒ 『ケアシル使い方ガイド ~クラウドアクセス編~』ボタンモジュール設定 (お薬設定) を参照下さい。

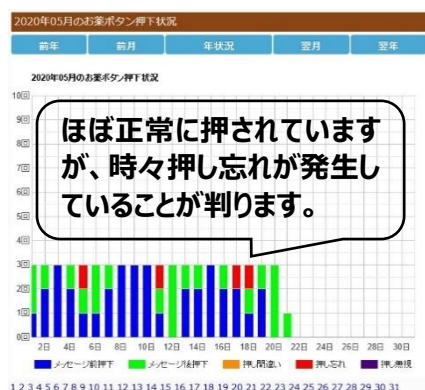
お薬ボタン押下状況確認

パソコンやスマホから、ケアシルクラウドにアクセスすると、おはようボタンの押下状況を確認することができます。

一日のボタン押下状況



一月のボタン押下状況



一年のボタン押下状況



詳しくは『ケアシル使い方ガイド ~クラウドアクセス編~』クラウドホーム (ホームメイン画面) を参照下さい。

食事時間管理

決められた、食後の時間になると、「ご飯ボタン」の押下を促す LED が点滅開始します（①）。LED の点滅で一定時間「ご飯ボタン」が押されなかった場合、ボタンモジュールの人感センサに反応して「ご飯ボタン」の押下を促す音声メッセージが流れます（②）。



「ご飯ボタン」が押されると、朝/昼/夜ご飯に関するワンポイントアドバイスをお知らせします（③）。

LED 点滅開始時刻と音声メッセージ時刻

LED の点滅開始時刻と音声メッセージ開始時刻及び終了時刻を指定します。又、音声メッセージ音量と音声メッセージ繰り返し間隔も指定可能です。

LED の点滅開始時刻	: 00時00分 ～ 23時50分（10分単位）
音声メッセージ開始時刻	: 00時00分 ～ 23時50分（10分単位）
音声メッセージ終了時刻	: 00時00分 ～ 23時50分（10分単位）
音声メッセージ音量	: 0～9段階
音声メッセージ繰り返し間隔	: 10秒/20秒/30秒/1分/2分/3分/5分/10分/20分/30分/1時間

⇒ 『ケアシル使い方ガイド ～クラウドアクセス編～』ボタンモジュール設定（朝・昼・夜ごはん設定）を参照下さい。

ご飯ボタン押下状況確認

パソコンやスマホから、ケアシルクラウドにアクセスすると、ご飯ボタンの押下状況を確認することができます。



詳しくは『ケアシル使い方ガイド ～クラウドアクセス編～』クラウドホーム（ホームメイン画面）を参照下さい。

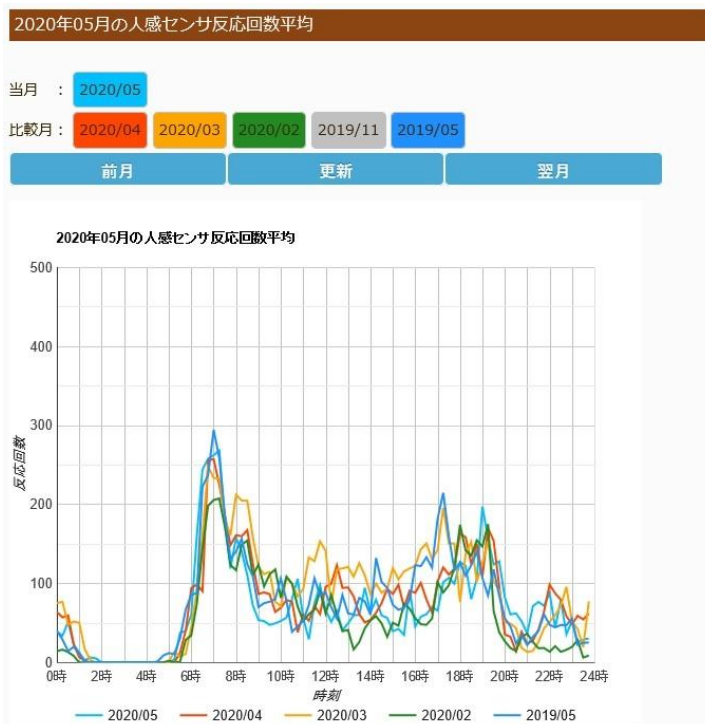
人感センサーの月別平均比較

人感センサの反応量はボタンモジュールが取り付けられて部屋への引きこもり度を表しています。この引きこもり度を長期間にわたって比較することで、生活状況の変化度を知る要因となります。しかしながら、一日の人感センサ反応量を比較してもあまり意味がありません。曜日毎の外出スケジュールや買い物等の日々のルーティーンで人感センサ反応量が変わるからです。この為、ケアシルでは、人感センサ反応量を時刻毎に1か月間の平均をとることで、部屋への引きこもり度を正確に表現します。

「人感センサ反応量 1 か月間平均値」を過去のデータと比較することで、生活状況の変化度を可視化することが可能です。

ケアシルクラウドでは、「人感センサ反応量 1 か月間平均値」を1 か月前、2 か月前、3 か月前、半年前、1 年前のデータと比較表示することが可能です。

現在の「人感センサ反応量 1 か月間平均値」を1 か月前、半年前、1 年前のデータと比較して大きな差がある場合は、部屋への引きこもり度が変化したことを示しています。



運動管理

決められた NHK テレビ体操の時間になると、体操の実行を促す音声メッセージが流れます（①）。「はいボタン」の LED と「いいえボタン」の LED が交互に点滅します。体操をする場合は、「はいボタン」をしない場合は「いいえ」ボタンを押下します（②）。「はいボタン」を押下すると LED の点滅が「はいボタン」の点滅に変わります。体操が終了したら、「はいボタン」を押下して完了します。

① 音声メッセージ

「間もなくテレビ体操が始まります。体操をしませんか」

② 質問の答え

「はい」ボタンの LED と「いいえ」ボタンの LED が交互に点滅します。「体操をしませんか？」の問いに、「はい」ボタンか「いいえ」ボタンの押下で答えます。

③ 体操の終了

「はい」ボタンの LED が点滅します。体操が終了したら「はい」ボタンを押下して終了します。



NHK TV 体操

初期設定時は、以下の NHK TV 体操の放送時間帯に対応した設定となっています。

	Eテレ 6 時 25 分～6 時 30 分	総合テレビ 9 時 55 分～10 時	総合テレビ 14 時 55 分～15 時
月曜日	みんなの体操 ラジオ体操第 1	みんなの体操	ラジオ体操第 1
火曜日	オリジナル体操 ラジオ体操第 2	みんなの体操	みんなの体操
水曜日	みんなの体操 ラジオ体操第 1	みんなの体操	ラジオ体操第 2
木曜日	オリジナル体操 ラジオ体操第 2	みんなの体操	オリジナル体操
金曜日	みんなの体操 ラジオ体操第 1	みんなの体操	リズム体操
土曜日	みんなの体操 ラジオ体操第 2	——	——
日曜日	ラジオ体操第 1 ラジオ体操第 2	——	——

音声メッセージの開始時刻及び終了時刻を指定します。又、音声メッセージ音量と音声メッセージ繰り返し間隔も指定可能です。

音声メッセージ開始時刻 : 00時00分 ～ 23時55分（5分単位）
 音声メッセージ終了時刻 : 00時00分 ～ 23時55分（5分単位）
 音声メッセージ音量 : 0～9段階
 音声メッセージ繰り返し間隔 : 10秒/20秒/30秒/1分/2分/3分/5分/10分/20分/30分/1時間

⇒ 『ケアシル使い方ガイド ～クラウドアクセス編～』ボタンモジュール設定（体操設定）を参照下さい。

※ラジオ体操や個別の体操を行う場合は、体操の開始時刻に合わせて、音声メッセージ開始時刻と終了時刻を設定して下さい。

脳トレ実行管理

MCI、認知症の予防として脳を鍛えることが大切です。定期的にパズルや、クイズ、ゲーム等、脳を鍛えるトレーニングを行いましょう。ケアシルには脳トレ実行のきっかけとなる脳トレのテキストが添付されています。

ケアシルは設定された時刻になると、テキストを使った脳トレの実行を促す音声メッセージが流れます（①）。「はいボタン」のLEDと「いいえボタン」のLEDが交互に点滅します。脳トレを行う場合は、「はいボタン」をしない場合は「いいえ」ボタンを押下します（②）。「はいボタン」を押下するとLEDの点滅が「はいボタン」の点滅に変わります。脳トレが終了したら、「はいボタン」を押下して完了します。

①音声メッセージ

「脳トレをしませんか」

②質問の答え

「はい」ボタンのLEDと「いいえ」ボタンのLEDが交互に点滅します。「脳トレをしませんか？」の問いに、「はい」ボタンか「いいえ」ボタンの押下で答えます。

③脳トレの終了

「はい」ボタンのLEDが点滅します。脳トレが終了したら「はい」ボタンを押下して終了します。



音声メッセージの開始時刻及び終了時刻を指定します。又、音声メッセージ音量と音声メッセージ繰り返し間隔も指定可能です。

音声メッセージ開始時刻 : 00時00分 ~ 23時50分 (10分単位)

音声メッセージ終了時刻 : 00時00分 ~ 23時50分 (10分単位)

音声メッセージ音量 : 0 ~ 9段階

音声メッセージ繰り返し間隔 : 10秒/20秒/30秒/1分/2分/3分/5分/10分/20分/30分/1時間

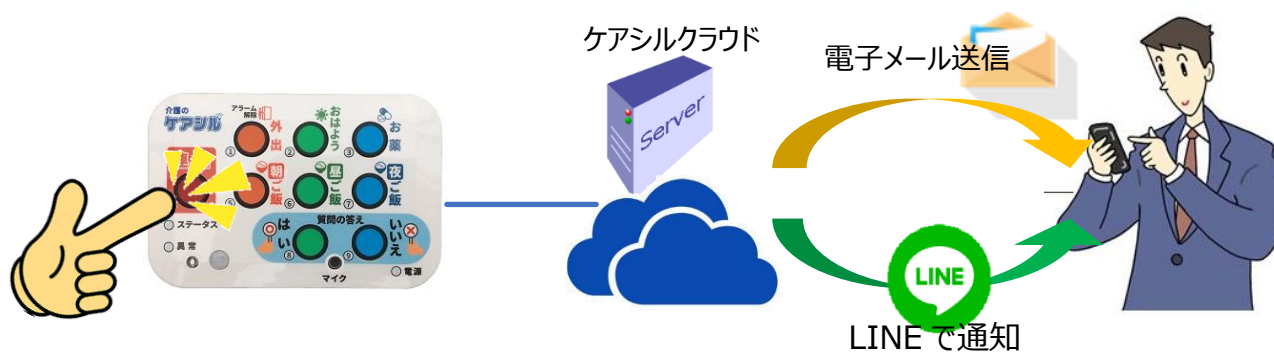
⇒ 『ケアシル使い方ガイド ~クラウドアクセス編~』ボタンモジュール設定 (脳トレ設定) を参照下さい。

在宅介護支援

ボタンモジュールのボタン押下のタイミングで介護者にメール送信を行うことで、介護者や家族は、離れて暮らす高齢者様の状況をリアルタイムに知ることができます。

ボタン押下通知

連絡ボタンだけでなく、外出ボタン、おはようボタン、お薬ボタン、朝／昼／夜ご飯ボタン押下のタイミングで設定されたメールアドレスに対して、メール送信／LINE 通知を行います。



外出ボタン

外出時に外出ボタンを押下すると、「外出ボタン押下通知」メールが送信されます。離れて暮らす家族や介護者は高齢者様が外出したことが判ります。又帰宅時に外出ボタンを押下すると「見守りボタン押下通知」メールが送信されます。高齢者様が外出から帰宅したことをリアルタイムで知ることができます。

おはようボタン

起床時におはようボタンを押下すると、「おはようボタン押下通知」メールが送信されます。離れて暮らす家族や介護者は高齢者様が起床したことをリアルタイムで知ることができます。

お薬ボタン

服薬時にお薬ボタンを押下すると、「お薬ボタン押下通知」メールが送信されます。離れて暮らす家族や介護者は高齢者様が薬を飲んだことをリアルタイムで知ることができます。メールが届かない場合は、薬を飲み忘れている可能性があります。メールが届かない場合、家族や介護者は電話等で確認するといったことが可能になります。

朝／昼／夜ご飯ボタン

朝／昼／夜ご飯それぞれ、食後にご飯ボタンを押下すると「ご飯ボタン押下通知」メールが送信されます。離れて暮らす家族や介護者は高齢者様が食事が終わったことをリアルタイムで知ることができます。

送信先メールアドレスと有効/無効設定

ボタン押下通知のメール送信先アドレスは最大 8 アドレスまで登録可能です。又各ボタン毎にメールの送信有無を設定可能です。

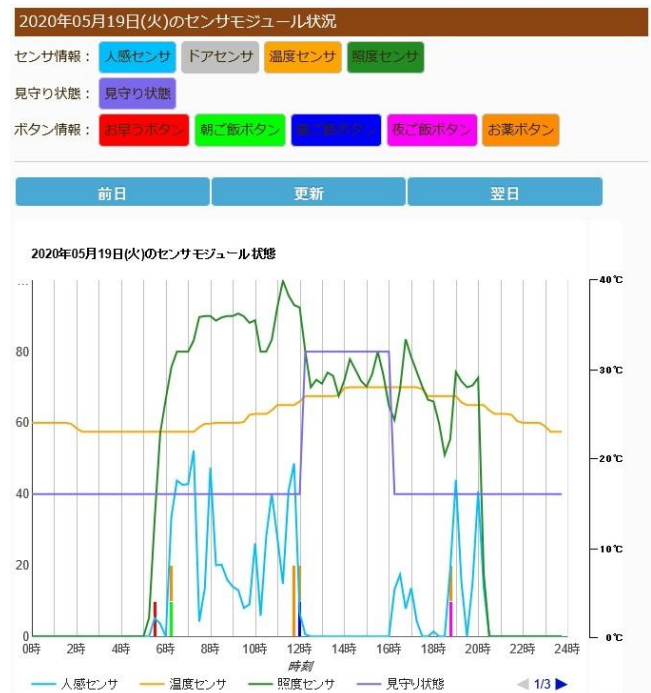
⇒『ケアシル使い方ガイド ～クラウドアクセス編～』メール設定 を参照下さい。

日毎グラフ

ケアシルクラウドでは、一日の人感センサや温度、照度等のセンサ情報とボタン押下情報をまとめて一つの画面（日毎グラフ）で確認することができます。一日の状況がグラフ表示されるので、直感的に一日の生活状況を把握することが可能です。

LINE にケアシルを登録すると、現在の状況と、昨日の状況の日毎グラフが LINE に送信されます。離れて暮らす家族や介護者は、いつでも、どこでも簡単に高齢者の状況を把握することができます。

LINE の登録方法は、『ケアシル使い方ガイド ～クラウドアクセス編～』LINE 通知登録 を参照下さい。



端末設定方法

ローカルルータに接続された PC やスマホの Web ブラウザを用いてボタンモジュールの設定・モニタが可能です。ボタンモジュールの IP アドレスに Web ブラウザを用いてアクセスします。ボタンモジュールの IP アドレスは起動通知メール（careshiru@aitosys.com からのメール）を参照下さい。

システム管理ホームページ

(1) PC やスマホの Web ブラウザに <http://>（ボタンモジュールの IP アドレス）を入力します。



(2) アカウンド名 : user
パスワード : passwd
を入力します。

(3) ログイン完了画面が表示されるので画面の[ここ](#)をクリックして下さい。



(4) システム管理ホームページが表示されます。



(5) 画面左のメニューから

画面左部の

システム設定
ネットワーク
メール設定
ボタンモジュール設定
装置管理
ステータス

をクリックして各画面を表示します。

※ Windows10 Microsoft Edge ブラウザではメールアドレスが正常に保存されません。
Windows10 では、IE を使用下さい。

システム設定

連絡ボタン機能と見守り関連の設定を行います。

外出モード切り替え及びアラーム状態

外出モード切り替え及びアラーム状態	
外出モードから見守りモードへ切り替えを行います。 ①	見守りモード切り替え
緊急ボタンアラームはありません。 ②	アラーム解除
見守りアラームはありません。 ③	アラーム解除

①外出モード/見守りモード切り替え

外出モードと見守りモード切り替えを行います。

●外出モード時：

表示：外出モードから見守りモードへ切り替えを行います

ボタン： 見守りモード切り替え

●見守りモード時：

表示：見守りモードから外出モードへ切り替えを行います

ボタン： 外出モード切り替え

②連絡ボタンアラーム解除

連絡ボタンアラームが出力されている場合、ボタンをクリックすることでアラーム解除ができます。

●連絡ボタン押下時

表示：連絡ボタンが押されました

ボタン： 連絡ボタン押下解除

③見守りアラーム解除

見守りアラームが出力されている場合、ボタンをクリックすることでアラーム解除ができます。

●見守りアラーム出力時

表示：見守りアラームを検出しています

ボタン： アラーム解除

連絡ボタン設定

設定を変更した場合は必ず 連絡ボタン設定 ボタンをクリックして下さい。

連絡ボタン設定
連絡ボタン有効/無効 ☒ 連絡ボタンを有効にする
連絡送信保護時間（ボタンが押されてからメール送信するまでの時間）： 10秒
連絡メール再送方法 連絡メール再送間隔： 5分 連絡メール再送回数： 1回
連絡メール解除条件 ☒ 外出/アラーム解除ボタン押下 ☒ 連絡ボタン押下 ☒ 連絡メール送信(再送含む)完了
連絡ボタン設定

連絡ボタン有効/無効

☒ 連絡ボタンを有効にする

チェックを入れることで連絡ボタン機能が有効になります。

連絡送信保護時間

（ボタンが押されてからメール送信するまでの時間）：

間違って連絡ボタンを押してしまって、メール送信を行わないようにするためメール送信実行までの保護時間を設定します。メール送信解除待ちの間に外出/アラーム解除ボタンを押下すると、連絡機能（メール送信）を中止します

0 秒（保護時間なし） / 10 秒 / 30 秒 / 60 秒 / 3 分 / 1 分から設定できます。

連絡メール再送方法

連絡ボタンが押された時に送信される連絡メールの再送間隔と再送回数を設定します。後述の連絡メール解除条件で設定される条件を満たした場合、メールの再送が停止します。再送を行わない場合は、再送回数に『再送無し』を設定します。

連絡メール再送間隔

5 分 / 10 分 / 30 秒 / 1 時間 / 4 時間 / 8 時間 / 12 時間 / 24 時間から設定できます。

連絡メール再送回数

再送無し / 1 回 / 2 回 / 3 回 / 4 回 / 5 回 / 6 回 / 7 回 / 8 回 / 制限無し から設定できます。

『再送無し』を選択するとメールの再送をしません。
『制限無し』設定すると連絡メール解除条件で設定された解除（連絡メール再送完了を除く）までメールの再送を続けます。

連絡メール解除条件

連絡ボタンが押された連絡ボタン押下アラーム状態を解除する条件を設定します。

☒ 外出/アラーム解除ボタン押下

チェックを入れることで、外出/アラーム解除ボタンを押すと、連絡ボタン押下アラーム状態を解除します。

☐ 連絡ボタン押下

チェックを入れることで、連絡ボタンを押すと、連絡ボタン押下アラーム状態を解除します。

☐ 連絡メール送信（再送含む）完了

チェックを入れることで、再送を含む連絡メールの送信完了をもって連絡ボタン押下アラーム状態を解除します。

見守り設定

設定を変更した場合は必ず **見守り設定** ボタンをクリックして下さい。



見守りセンサ選択

☒ 焦電センサ

チェックを入れることで焦電センサによる見守り機能を有効にします。

☐ ドアセンサ

チェックを入れることでドアセンサによる見守り機能を有効にします。

☐ 照度センサ

チェックを入れることで照度センサによる照明監視を有効にします。

☐ 温度センサ

チェックを入れることで温度センサによる室温監視を有効にします。

判定時間設定



焦電センサによる見守り異常検出時間と夜間時間

焦電センサが最後に検知してから異常検知メールを送信開始するまでの時間を設定します。見守りセンサ選択で焦電センサを有効にした場合に機能が有効になります。

見守り異常検出時間

5 分/10 分/15 分/30 分/45 分と 1 時間～24 時間の間で 1 時間単位に設定できます。

☒ 夜時間を設定する

チェックを入れることで就寝中の焦電センサによる見守り機能を一時停止します。



夜間開始時間と夜間終了時間

就寝中の焦電センサによる見守り機能を一時停止する時間帯を設定します。

夜間開始時間：0 時～23 時

夜間終了時間：0 時～23 時

☑外出時、焦電センサが--時間以降に反応したら見守りモードに切り替える

外出モードの状態を設定時間以降に焦電センサが反応した場合、自動的に見守りモードに切り替えます。外出中から帰宅した場合に、外出/アラーム解除ボタンの押し忘れを補助します。設定時間最大値は見守り異常検出時間によって変わります。見守り異常検出時間を保存してから設定して下さい。

ドアセンサによる見守り異常検出時間

ドアセンサが最後に検知してから異常検知メールを送信開始するまでの時間を設定します。見守りセンサ選択でドアセンサを有効にした場合に機能が有効になります。

ドアセンサは追加オプションです。

☑ドアセンサで見守り/外出モードを切り替える

ドアセンサを玄関のドアに設置することで見守りモードと外出モードを自動的に切り替えることができます。この機能を使用することで外出/帰宅時に見守り/解除ボタンを押さなくても自動的に見守りモードと外出モードが切り替わります。（この場合ドアセンサによる見守り動作はできなくなります）

見守り異常検出時間：

1 時間～24 時間の間で 1 時間単位に設定できます。

☑夜時間を設定する

チェックを入れることで就寝中のドアセンサによる見守り機能を一時停止します。

夜間開始時間と夜間終了時間

就寝中のドアセンサによる見守り機能を一時停止する時間帯を設定します。

夜間開始時間：0 時～23 時

夜間終了時間：0 時～23 時

照度センサによる見守り異常検出時間

深夜時間に照明が継続して点灯していた場合に異常検知メールを送信します。見守りセンサ選択で照度センサを有効にした場合に機能が有効になります。

照明点灯検出時刻：

1 時間～24 時間の間で 1 時間単位に設定できます。通常就寝中の深夜時刻（1 時～3 時頃）を設定します。

照明点灯継続時間：

トイレに行くため照明を点灯させる場合等があるため、異常判定には継続して照明が点灯していることが条件になります。1 時間～4 時間の間で 1 時間単位に設定できます。

照明点灯継続照度閾値：

小さい灯りを点けて就寝する場合、照明点灯異常が検出されないように検出照度閾値を設定できます。真っ暗で就寝する場合は 1 を設定し、灯りを点けて就寝する場合は 2 ～ 1 0 の間で閾値を設定します。1（暗い）～1 0（明るい）の間で設定します。



温度センサによる見守り異常検出

設定温度以上の室温を検出した場合に異常検知メールを送信します。見守りセンサ選択で温度センサを有効にした場合に機能が有効になります。

検出温度閾値：

温度異常と判定する温度を設定します。
25℃～40℃の間で 1℃単位に設定できます。

再アラーム発出保護時間：

温度は、ゆっくりと変化するため、検出温度閾値を超えて温度異常アラームを検知した後、風などの影響を受けて少し温度が下がり又すぐに検出温度閾値を超えて温度異常アラームを検出することが起こります。この為、一度温度異常アラームを検出した後、次の温度異常アラームを検出するまでの時間を設定します。

1 時間～24 時間の間で 1 時間単位に設定できます。

設定温度以上の室温を検出した場合の音声メッセージによる通知：

温度センサが設定温度以上の室温を検出した場合に音声メッセージでエアコンの使用を促しを行います。
25℃～40℃の間で 1℃単位に設定できます。

※音声メッセージによる通知では温度異常としてのメールを送信は行いません。

☒ 音声メッセージで通知する

チェックを入れることで温度センサが設定温度以上の室温を検出した場合に音声メッセージによる通知を行います。

音声メッセージ通知温度：

音声メッセージによる通知を行う温度を設定します。
25℃～40℃の間で 1℃単位に設定できます。

音声メッセージ通知間隔：

音声メッセージによる通知を行う間隔を設定します。10 秒 / 20 秒 / 30 秒 / 1 分 / 2 分 / 3 分 / 5 分 / 10 分 / 20 分 / 30 分 / 1 時間から設定できます。

見守り異常メール再送方法

見守り異常メール再送方法

見守り異常メール再送間隔：[5分] 見守り異常メール再送回数：[再送無し]

見守り異常メール解除条件

☒ 外出/アラーム解除ボタン押下 ☐ 見守り異常メール送信(再送含む)完了

見守り異常が検出された時に送信される見守り異常メールの再送間隔と再送回数を設定します。後述の見守り異常メール解除条件で設定される条件を満たした場合、メールの再送が停止します。再送を行わない場合は、再送回数に『再送無し』を設定します。

見守り異常メール再送間隔

5 分 / 10 分 / 30 秒 / 1 時間 / 4 時間 / 8 時間 / 12 時間 / 24 時間から設定できます。

見守り異常メール再送回数

再送無し / 1 回 / 2 回 / 3 回 / 4 回 / 5 回 / 6 回 / 7 回 / 8 回 / 制限無し から設定できます。

『再送無し』を選択するとメールの再送をしません。

『制限無し』設定すると連絡メール解除条件で設定された解除（連絡メール再送完了を除く）までメールの再送を続けます。

見守り異常メール解除条件

連絡ボタンが押された連絡ボタン押下アラーム状態を解除する条件を設定します。

☒ 外出/アラーム解除ボタン押下

チェックを入れることで、外出/アラーム解除ボタンを押した場合連絡ボタン押下アラーム状態を解除します。

☐ 連絡メール送信（再送含む）完了

チェックを入れることで、再送を含む連絡メールの送信完了をもって連絡ボタン押下アラーム状態を解除します。

センサ反応時の L E D 点滅状態

センサ反応時のLED点滅状態

☒ 焦電センサ反応時のLEDを点滅する ☒ ドアセンサ反応時のLEDを点滅する

焦電センサとドアセンサ反応時の L E D 点滅状態を設定できます。センサ反応時の L E D 点滅が気になる場合は点滅を解除して下さい。

☒ 焦電センサ反応時の L E D を点滅する

チェックを入れることで焦電センサ反応時、L E D が点滅します。

☒ ドアセンサ反応時の L E D を点滅する

チェックを入れることでドアセンサ反応時、L E D が点滅します。

ブザー音設定

設定を変更した場合は必ず「ブザー音設定」ボタンをクリックして下さい。

異常警報の音

連絡ボタン押下時のブザー音量：

連絡ボタン押下時、保護時間を過ぎて、連絡ボタン押下アラーム状態になったときのブザー音を設定します。大／無から設定できます。

ブザーテスト をクリックするとブザー音を確認できます。

焦電センサによる見守り異常判定時のブザー音量：

焦電センサによる見守り異常を検出した場合のブザー音を設定します。大／無から設定できます。

ブザーテスト をクリックするとブザー音を確認できます。

ドアセンサによる見守り異常判定時のブザー音量：

ドアセンサによる見守り異常を検出した場合のブザー音を設定します。大／無から設定できます。

ブザーテスト をクリックするとブザー音を確認できます。

照度センサによる見守り異常判定時のブザー音量：

照度センサによる見守り異常を検出した場合のブザー音を設定します。大／無から設定できます。

ブザーテスト をクリックするとブザー音を確認できます。

温度センサによる見守り異常判定時のブザー音量：

温度センサによる見守り異常を検出した場合のブザー音を設定します。大／無から設定できます。

ブザーテスト をクリックするとブザー音を確認できます。

音声メッセージ通知間隔：

異常警報発出時、音声メッセージによる通知を行います。音声メッセージによる通知を行う間隔を設定します。10 秒 / 20 秒 / 30 秒 / 1 分 / 2 分 / 3 分 / 5 分 / 10 分 / 20 分 / 30 分 / 1 時間から設定できます。

／帰宅時の音

外出時の音：

オプションのドアセンサを用いて見守りモードと外出モードを自動的に切り替えた場合、外出時のブザー音を設定します。大／無から設定できます。

ブザー音の継続時間は 1 秒/2 秒/5 秒/10 秒/20 秒/30 秒から設定できます。

ブザーテスト をクリックするとブザー音を確認できます。

帰宅時の音：

オプションのドアセンサを用いて見守りモードと外出モードを自動的に切り替えた場合、帰宅時のブザー音を設定します。大／無から設定できます。

ブザー音の継続時間は 1 秒/2 秒/5 秒/10 秒/20 秒/30 秒から設定できます。

ブザーテスト をクリックするとブザー音を確認できます。

ネットワーク

ボタンモジュールが接続されるネットワーク環境の設定を行います。

ネットワーク接続の優先順位

ボタンモジュールが使用するネットワークは優先順位があります。ネットワークに接続する場合はご注意下さい。

- | | |
|----------------------------------|--|
| (第 1 優先)無線 LAN (SSID/KEY) 設定での接続 | 〔 ・SSID/KEY が設定されている場合。 〕 |
| (第 2 優先)無線 LAN (WPS) 起動での接続 | 〔 ・WPS が有効
・SSID/KEY が設定されていない。 〕 |
| (第 3 優先)有線 LAN (DHCP) 起動 | 〔 ・有線 LAN ケーブルが接続されている。
・有線 LAN DHCP が有効。
・WPS ボタン(見外出/アラーム解除ボタン)が押されていない。 〕 |
| (第 4 優先)有線 LAN (スタティック IP) 起動 | 〔 ・SSID/KEY が設定されていない。
・有線 LAN ケーブルが接続されている。
・DHCP が無効もしくは DHCP 接続エラー
・WPS ボタン (外出/アラーム解除ボタン) が押されている 〕 |

SSID/KEY による無線 LAN 接続が最優先されます。正しい SSID/KEY が設定された状態で、LAN ケーブルが接続されていても、SSID/KEY を用いた無線 LAN 接続が行われます。SSID/KEY が間違っていたり、対応する無線 LAN ルータの電源が入っていない場合、LAN ケーブルが接続されていないと WPS での接続待ち状態となります。又 LAN ケーブルが接続されている場合は、有線 LAN による接続を行います。

SSID/KEY が設定されておらず、WPS が有効状態の場合、LAN ケーブルが接続されていないと WPS での接続待ち状態となります。LAN ケーブルが接続されている場合は、有線 LAN による接続を行います。

SSID/KEY が設定されておらず WPS が無効状態の場合、無線 LAN 接続は無効となり、有線 LAN による接続を行います。DHCP が有効となっている場合は、ルータから IP アドレスを取得して接続を行います。DHCP が無効の場合は、起動時の LED 点滅時に WPS ボタン (外出/アラーム解除ボタン) を押すと設定された固定 IP アドレスで起動します。

LAN 設定

設定を変更した場合は必ず **LAN 設定** ボタンをクリックして下さい。

LAN 設定

センサモジュールのネットワークアドレスを設定します。

☒ DHCPサーバを利用する

LAN MACアドレス:	3C:33:00:A0:04:7A
センサモジュールIPアドレス:	192 : 168 : 1 : 119
センサモジュールサブネットマスク:	255 : 255 : 255 : 0
センサモジュールデフォルトゲートウェイ:	192 : 168 : 1 : 1
センサモジュールDNSサーバアドレス:	192 : 168 : 1 : 1

LAN 設定

有線 LAN を用いてボタンモジュールをネットワークに接続する場合の設定を行います

☒DHCP サーバを利用する

チェックを入れることで DHCP サーバによる IP アドレスの自動取得を行います。特に問題がなければ DHCP サーバによる IP アドレスの取得を推奨します。

LAN MAC アドレス:

ボタンモジュールの有線 LAN MAC アドレスが表示されます。

ボタンモジュール IP アドレス:

DHCP サーバを利用せずにスタティック（固定）IP アドレスでネットワークに接続する場合に、IP アドレスを設定します。DHCP サーバを利用する場合は無視されます。

ボタンモジュールサブネットマスク:

DHCP サーバを利用せずにスタティック（固定）IP アドレスでネットワークに接続する場合に、サブネットマスク値を設定します。DHCP サーバを利用する場合は無視されます。

ボタンモジュールデフォルトゲートウェイ:

DHCP サーバを利用せずにスタティック（固定）IP アドレスでネットワークに接続する場合に、デフォルトゲートウェイアドレスを設定します。DHCP サーバを利用する場合は無視されます。

ボタンモジュール DNS アドレス:

DHCP サーバを利用せずにスタティック（固定）IP アドレスでネットワークに接続する場合に、DNS アドレスを設定します。DHCP サーバを利用する場合は無視されます。

WiFi 設定

設定を変更した場合は必ず **WiFi 設定** ボタンをクリックして下さい。

Wifi 設定

センサモジュールのWiFi接続設定を行います。

☒ WPSを使用してSSID/Keyを取得する。

接続先ルータ SSID:	SetYourRouterSSID
接続先ルータ Key:	SetYourRouterKey

☒ DHCPサーバを利用する

WiFi MACアドレス:	3C:33:00:A0:04:7B
WiFi IPアドレス:	192 : 168 : 10 : 204
WiFi サブネットマスク:	255 : 255 : 255 : 0
WiFi デフォルトゲートウェイ:	192 : 168 : 10 : 1
WiFi DNSサーバアドレス:	192 : 168 : 10 : 1

WiFi 設定

無線 LAN を用いてボタンモジュールをネットワークに接続する場合の設定を行います

☒WPS を利用して SSID/Key を取得する。

チェックを入れることで WPS による SSID/Key の取得を行います。

接続先ルータ SSID:

WPS を使用しない場合、接続先ルータの SSID を入力します。無線 LAN 接続を行わない場合は、空白にします。

接続先ルータ Key:

WPS を使用しない場合、接続先ルータの Key を入力します。無線 LAN 接続を行わない場合は、空白にします。

☑DHCP サーバを利用する

チェックを入れることで DHCP サーバによる IP アドレスの自動取得を行います。特に問題がなければ DHCP サーバによる IP アドレスの取得を推奨します。

Wifi MAC アドレス :

ボタンモジュールの無線 LAN MAC アドレスが表示されます。

Wifi IP アドレス :

DHCP サーバを利用せず、スタティック（固定）IP アドレスでネットワークに接続する場合の IP アドレスを設定します。DHCP サーバを利用する場合は無視されます

Wifi サブネットマスク :

DHCP サーバを利用せず、スタティック（固定）IP ア

ドレスでネットワークに接続する場合のサブネットマスク値を設定します。DHCP サーバを利用する場合は無視されます。

Wifi デフォルトゲートウェイ :

DHCP サーバを利用せず、スタティック（固定）IP アドレスでネットワークに接続する場合のデフォルトゲートウェイアドレスを設定します。DHCP サーバを利用する場合は無視されます。

Wifi DNS アドレス :

DHCP サーバを利用せず、スタティック（固定）IP アドレスでネットワークに接続する場合の DNS アドレスを設定します。DHCP サーバを利用する場合は無視されます。

メール設定

メールを送信する際のメールアドレスの設定を行います。

送信メールアドレス

設定を変更した場合は必ず、

送信メールアドレス設定 ボタンをクリックして下さい。

送信メールに対する 連絡ボタン通知 / 見守り異常通知 / 定時状況通知 / 定時状況通知送信時刻の設定を行います。メール送信先は最大 8 アドレスまで登録できます。

メールアドレス :

連絡ボタン通知 / 見守り異常通知 / 定時状況通知メールの送信先メールアドレスを指定します。

連絡通知 :

連絡ボタンが押されたときに送信される連絡通知メールを送信するか否かを指定します。

見守り異常 :

見守り異常（焦電センサによる見守り異常 / ドアセンサによる見守り異常 / 照明センサ異常 / 温度異常）を検知した場合に送信される見守り異常検出メールを送信するか否かを指定します。

送信メールアドレス						
送信メールアドレス通知設定						
No	メールアドレス	緊急通知	見守り異常	状況通知	状況通知送信時刻	
1	Mail_Address@domain.com	☒	☒	☒	14 時	0 分
2	Mail_Address@domain.com	☐	☐	☐	10 時	0 分
3	Mail_Address@domain.com	☐	☐	☐	10 時	0 分
4	Mail_Address@domain.com	☐	☐	☐	10 時	0 分
5	Mail_Address@domain.com	☐	☐	☐	10 時	0 分
6	Mail_Address@domain.com	☐	☐	☐	10 時	0 分
7	Mail_Address@domain.com	☐	☐	☐	10 時	0 分
8	Mail_Address@domain.com	☐	☐	☐	10 時	0 分

送信メールアドレス設定

状況通知：

見守り異常状態 / 1 日前のセンサ統計情報を 1 日に一回、状況通知メールとして送信します。状況通知メールを送信するか否かを指定します。

状況通知送信時刻：

状況通知メールの送信時刻を設定します。
00 時 00 分～23 時 50 分まで 10 分単位で指定可能です。

同一メールアドレスに複数の送信時刻を指定したい場合は、メールアドレスの項目に同一アドレスを指定して異なる送信時刻を設定して下さい。

ボタンモジュール設定

ボタン機能に関する設定を行います。

おはよう設定

設定を変更した場合は必ず、

おはよう設定 ボタンをクリックして下さい。

おはよう設定	
おはよう機能を設定します。	
☒ おはよう機能を有効にする。	
おはようLED点滅開始時刻	6 時 30 分
音声メッセージ開始時刻	7 時 0 分
音声メッセージ終了時刻	7 時 30 分
メッセージ音量(0を選択すると出力されません)	8
メッセージ繰り返し間隔: 1 分	
<button>おはよう設定</button>	

おはよう機能に関する設定を行います

☒おはよう機能を有効にする。

チェックを入れることで、おはよう機能を有効にします。

おはよう LED 点滅開始時刻：

おはようボタンの LED が点滅し始める時間を設定します。00 時 00 分～23 時 50 分まで 10 分単位で指定可能です。

音声メッセージ開始時刻：

おはようボタン押下促しメッセージが再生される時間を設定します。00 時 00 分～23 時 50 分まで 10 分単位で指定可能です。

音声メッセージ終了時間：

おはようボタン押下促しメッセージの再生が終了する時間を設定します。00 時 00 分～23 時 50 分まで 10 分単位で指定可能です。

メッセージ音量：

おはようボタン押下促しメッセージの音量を設定します。
0 から 9 で設定できます。0 の場合音声は再生されません。

メッセージ繰り返し間隔：

おはようボタン押下促しメッセージを再生する間隔を設定します。10 秒 / 20 秒 / 30 秒 / 1 分 / 2 分 / 3 分 / 5 分 / 10 分 / 20 分 / 30 分 / 1 時間から設定できます。

お薬設定

設定を変更した場合は必ず、

お薬設定 ボタンをクリックして下さい。

お薬設定

お薬ボタン機能を設定します。

薬種別	有効	LED点滅開始時刻	メッセージ開始時刻	メッセージ終了時刻	音量
朝食前食間	☐	6 時 0 分	6 時 30 分	7 時 0 分	8
朝食 食前	☐	6 時 30 分	7 時 0 分	7 時 30 分	8
朝食 食後	☒	8 時 0 分	8 時 30 分	9 時 0 分	8
昼食前食間	☐	10 時 0 分	10 時 30 分	11 時 0 分	8
昼食 食前	☐	11 時 30 分	11 時 40 分	11 時 50 分	8
昼食 食後	☒	12 時 30 分	13 時 0 分	13 時 30 分	8
夕食前食間	☐	16 時 0 分	16 時 30 分	17 時 0 分	8
夕食 食前	☐	18 時 30 分	18 時 40 分	18 時 50 分	8
夕食 食後	☒	20 時 0 分	20 時 30 分	21 時 0 分	8
就寝前	☐	21 時 30 分	22 時 0 分	22 時 30 分	8

メッセージ繰り返し間隔: 1分

お薬設定

薬種別ごとにお薬ボタン機能の設定を行います

有効

チェックを入れた薬種別のお薬ボタン機能を有効にします。

LED 点滅開始時刻：

お薬ボタンの LED が点滅し始める時間を設定します。
00 時 00 分～23 時 50 分まで 10 分単位で指定可能です。

メッセージ開始時刻：

お薬ボタン押下促しメッセージが再生される時間を設定します。00 時 00 分～23 時 50 分まで 10 分単位で指定可能です。

メッセージ終了時間：

お薬ボタン押下促しメッセージの再生が終了する時間を設定します。00 時 00 分～23 時 50 分まで 10 分単位で指定可能です。

音量：

お薬ボタン押下促しメッセージの音量を設定します。0 から 9 で設定できます。0 の場合音声は再生されません。

メッセージ繰り返し間隔：

お薬ボタン押下促しメッセージを再生する間隔を設定します。10 秒 / 20 秒 / 30 秒 / 1 分 / 2 分 / 3 分 / 5 分 / 10 分 / 20 分 / 30 分 / 1 時間から設定できます。

朝・昼・夜ごはん設定

設定を変更した場合は必ず、

ごはん設定 ボタンをクリックして下さい。

朝・昼・夜ごはん設定

ごはんボタン機能を設定します。

ごはん	有効	LED点滅開始時刻	メッセージ開始時刻	メッセージ終了時刻	音量
朝ごはん	☒	14 時 0 分	14 時 10 分	14 時 10 分	0
昼ごはん	☒	14 時 20 分	14 時 30 分	14 時 30 分	0
夜ごはん	☒	14 時 40 分	14 時 50 分	14 時 50 分	0

メッセージ繰り返し間隔: 1分

ごはん設定

朝ごはん / 昼ごはん / 夜ごはんボタン機能の設定を行います。

有効

チェック入れることで、ごはんボタン機能を有効にします。

LED 点滅開始時刻：

ごはんボタンの LED が点滅し始める時間を設定します。00 時 00 分～23 時 50 分まで 10 分単位で指定可能です。

メッセージ開始時刻：

ごはんボタン押下促しメッセージが再生される時間を設定します。00 時 00 分～23 時 50 分まで 10 分単位で指定可能です。

メッセージ終了時刻：

ごはんボタン押下促しメッセージの再生が終了する時間を設定します。00 時 00 分～23 時 50 分まで 10 分単位で指定可能です。

音量：

ごはんボタン押下促しメッセージの音量を設定します。0 から 9 で設定できます。0 の場合音声は再生されません。

メッセージ繰り返し間隔：

ごはんボタン押下促しメッセージを再生する間隔を設定します。10 秒 / 20 秒 / 30 秒 / 1 分 / 2 分 / 3 分 / 5 分 / 10 分 / 20 分 / 30 分 / 1 時間から設定できます。

体操設定

設定を変更した場合は必ず、

体操設定 ボタンをクリックして下さい。

体操設定

体操機能を設定します。

体操曜日設定

曜日	有効	メッセージ開始時刻	メッセージ終了時刻	音量	
月曜	その1	☐	6 時 15 分	6 時 25 分	8
	その2	☒	9 時 45 分	9 時 55 分	8
	その3	☐	14 時 45 分	14 時 55 分	8
火曜	その1	☐	6 時 15 分	6 時 25 分	8
	その2	☒	9 時 45 分	9 時 55 分	8
	その3	☐	14 時 45 分	14 時 55 分	8
水曜	その1	☐	6 時 15 分	6 時 25 分	8
	その2	☒	9 時 45 分	9 時 55 分	8
	その3	☐	14 時 45 分	14 時 55 分	8
木曜	その1	☐	6 時 15 分	6 時 25 分	8
	その2	☒	9 時 45 分	9 時 55 分	8
	その3	☐	14 時 45 分	14 時 55 分	8
金曜	その1	☐	6 時 15 分	6 時 25 分	8
	その2	☒	9 時 45 分	9 時 55 分	8
	その3	☐	14 時 45 分	14 時 55 分	8
土曜	その1	☐	6 時 15 分	6 時 25 分	8
	その2	☐	9 時 45 分	9 時 55 分	8
	その3	☐	14 時 45 分	14 時 55 分	8
日曜	その1	☐	6 時 15 分	6 時 25 分	8
	その2	☐	9 時 45 分	9 時 55 分	8
	その3	☐	14 時 45 分	14 時 55 分	8

メッセージ繰り返し間隔：1分

体操設定

曜日ごとに3パターンずつ体操機能の設定を行います。

☒有効

チェックを入れることで、体操機能を有効にします。

メッセージ開始時刻：

体操の促しメッセージが再生される時間を設定します。00 時 00 分～23 時 55 分まで5分単位で指定可能です。

メッセージ終了時刻：

体操の促しメッセージの再生が終了する時間を設定します。00 時 00 分～23 時 55 分まで5分単位で指定可能です。

音量：

体操の促しメッセージの音量を設定します。0から9で設定できます。0の場合音声は再生されません。

メッセージ繰り返し間隔：

体操の促しメッセージを再生する間隔を設定します。10 秒 / 20 秒 / 30 秒 / 1 分 / 2 分 / 3 分 / 5 分 / 10 分 / 20 分 / 30 分 / 1 時間から設定できます。

脳トレ設定

設定を変更した場合は必ず、

脳トレ設定 ボタンをクリックして下さい。

脳トレ設定

脳トレ機能を設定します。体操設定と時刻が重なっている場合は体操設定が優先されます。

脳トレ曜日設定

☐ 月曜
☐ 火曜
☐ 水曜
☐ 木曜
☐ 金曜
☒ 土曜
☒ 日曜

音声メッセージ開始時刻

9 時 0 分

音声メッセージ終了時刻

9 時 30 分

メッセージ音量(0を選択すると出力されません)

8

メッセージ繰り返し間隔：1分

脳トレ設定

脳トレ機能の設定を行います。体操設定と時刻が重なっている場合は体操設定が優先されます。

☒脳トレ曜日設定

チェックを入れた曜日の脳トレ機能を有効にします。

音声メッセージ開始時刻：

脳トレの促しメッセージが再生される時間を設定します。00 時 00 分～23 時 50 分まで10分単位で指定可能です。

音声メッセージ終了時刻：

脳トレの促しメッセージの再生が終了する時間を設定します。00 時 00 分～23 時 50 分まで 10 分単位で指定可能です。

音量：

脳トレの促しメッセージの音量を設定します。0 から 9 で設定できます。0 の場合音声は再生されません。

メッセージ繰り返し間隔：

脳トレの促しメッセージを再生する間隔を設定します。
10 秒 / 20 秒 / 30 秒 / 1 分 / 2 分 / 3 分 / 5 分 / 10 分 / 20 分 / 30 分 / 1 時間から設定できます。

声掛け設定

設定を変更した場合は必ず、

声掛け設定 ボタンをクリックして下さい。

声掛け設定

声掛け機能を設定します。体操設定・脳トレ設定と時刻が重なっている場合は体操設定・脳トレ設定が優先されます。

声掛け曜日設定

☒ 月曜 ☒ 火曜 ☒ 水曜 ☒ 木曜 ☒ 金曜 ☒ 土曜 ☒ 日曜

声掛け開始時刻 10 ▼ 時 0 ▼ 分

メッセージ音量(0を選択すると出力されません) 8 ▼

声掛け設定

声掛け機能の設定を行います。体操設定・脳トレ設定と時刻が重なっている場合は体操設定・脳トレ設定が優先されます。

☒ 声掛け曜日設定：

チェックを入れた曜日の声掛け機能を有効にします。

声掛け開始時刻：

声掛けを開始する時刻を設定します。

00 時 00 分～23 時 50 分まで 10 分単位で指定可能です。

音量：

声掛けメッセージの音量を設定します。0 から 9 で設定できます。0 の場合音声は再生されません。

装置管理

ボタンモジュール本体の装置管理を行います。

管理者パスワード

設定を変更した場合は必ず **変更** ボタンをクリックして下さい。

管理者パスワード

ログインパスワードを変更します。変更前パスワードと新しいパスワードを入力して下さい。

ユーザ ID :

変更前パスワード :

変更後パスワード :

変更後パスワード : (再入力)

変更

ユーザ ID：

WebUI での管理用ログインユーザ ID を指定します。
ユーザ ID は『user』固定です。

変更前パスワード：

WebUI での管理用ログインユーザ ID に対する変更前のパスワードを指定します。初期パスワードは『passwd』です。

変更後パスワード：

変更後パスワード（再入力）：

WebUI での管理用ログインユーザ ID に対する変更後のパスワードを指定します。

装置管理者メールアドレス登録

設定を変更した場合は必ず **メールアドレス登録** **ボタンをクリックして下さい。**

DHCP を使ったネットワーク接続を行うと端末の IP アドレスを調べるためには、ルータの払い出し IP アドレスを調べる必要があります。装置管理者メールアドレスを登録しておく、IP アドレス等の起動情報をメールで通知します。

装置管理者メールアドレス：

起動通知を受け取るメールアドレスを指定します。不要の場合は指定しないで下さい。

時刻設定

設定を変更した場合は必ず **設定** **ボタンをクリックして下さい。**

手動による設定

現在時刻をセット：

ボタンモジュールの時計を変更する場合に設定します。NTP を設定し、ネットワークに接続している場合、現在時刻と異なる時刻設定をしても、30 分程度で自動的に時刻合わせが実施され、現在時刻で上書きされます。

NTP による自動設定

☒ NTP サーバによる時刻取り込みを有効にする

チェックを入れることで NTP サーバによる時刻合わせ機能が有効になります。ネットワークに接続されている場合、30 分程度で時刻合わせが実施されます。

NTP サーバアドレス：

NTP サーバアドレスを指定する場合に設定します。空白の場合、デフォルトの NTP サーバを使用します。

再起動

再起動 ボタンをクリックすることでボタンモジュールを再起動します。

再起動後通常動作まで 1 分程度かかります。1 分以上たってもステータス LED 及び異常 LED が消灯しない場合は電源の OFF/ON を行って下さい。

初期化

センサモジュールは工場出荷時にあらかじめお客様の接続方法をお聞きし、ネットワーク情報やメール情報を設定します。

初期化 ボタンをクリックすることでボタンモジュールを工場出荷状態に初期化します。

- ・無線 LAN ルータに有線 LAN 接続ポートがある場合は、LAN ケーブルでボタンモジュールと接続し、正常に起動するか確認下さい。

●有線 LAN 接続の場合

- ・LAN ケーブルがボタンモジュールとルータ（SW ハブ）に正しく接続されていることを確認下さい。
- ・ボタンモジュールの設定が無線 LAN 接続で SSID/KEY が設定されている場合、無線 LAN 接続になります。有線 LAN 接続する場合は、センサモジュールの無線 LAN 接続を OFF（SSID/KEY を空白に設定）するか、無線ルータの無線機能を OFF にして接続して下さい。ボタンモジュールの無線 LAN 接続を OFF にする方法は、『端末設定方法』ネットワーク（WiFi 設定）[\[50 ページ\]](#) を参照下さい。

ネットワーク接続方法を変更したい

ボタンモジュールの WebUI 画面から変更可能です。無線 LAN（WPS 接続）もしくは有線 LAN（DHCP）接続でボタンモジュールをネットワークに接続し、WebUI 画面から変更して下さい。

異常状態ランプ（赤）が点滅したら

異常状態ランプが低速点滅した場合は電源の OFF/ON を行い、再起動して下さい。それでも異常状態ランプが低速点滅する場合は、お買い求めの代理店、または弊社サポートに連絡下さい。

ステータスランプの点滅が気になる

焦電センサ、ドアセンサが反応するとステータスランプが点滅します。寝室等に設置し、ステータスランプの点滅が気になる場合は WebUI から変更可能です。『ケアシル使い方ガイド ～クラウドアクセス編～』システム設定（見守り設定）で以下のチェックボックスのチェックを外して下さい。

- ☒ 焦電センサ反応時の LED を点滅する
- ☒ ドアセンサ反応時の LED を点滅する

スマートフォンから設定したい

スマートフォンのデザリング機能を用いて無線ルータが無い環境でも、スマートフォンから直接、ボタンモジュールの設定が可能です（ボタンモジュールが無線 LAN 接続で SSID と KEY が設定されている必要があります）。

- (1)スマートフォンのデザリング機能の設定画面で以下のように設定します。
SSI : 初期登録時の SSID を入力します。
セキュリティ : WPA2 PSK を指定します。
パスワード : 初期登録時のパスワードを入力します。
- (2) ボタンモジュールの電源を入れます。
- (3)起動通知が設定されたメールアドレスに IP アドレスが通知されます。
- (4)スマートフォンのブラウザから通知された IP アドレスにアクセスします。

本製品の不具合に起因する付随的損害

本システムは、ご利用者様の生活状況を見守ることを目的としたシステムであり、ご利用者の体調状況をリアルタイムにお知らせするものではありません。また、ご利用者の突発的な体調異常また事故等を、即座に外部へ自動で通報する緊急通報システムではありません。本システムは、状況通知の手段として、通信回線を使用したインターネットメールを利用しています。本システムに接続した通信回線の故障、状況通知を受信される端末（携帯電話など）の通信状況等により、状況通知メールが受信できない、または遅延する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

万一、本製品の使用および不具合の発生によって生じた付随的な損害につきましては、直接的・間接的に関わらず、弊社では補償いたしかねます。

補修用性能部品及び消耗品の保有期間

本製品の補償用性能部品及び消耗品の保有期間は、製品の製造終了後 5 年間です。改良などにより、予告なく外觀や仕様などを変更することがあります。故障の状況によっては、弊社の判断により、製品本体を同一機種または同等仕様の機種と交換等させていただくことがあります。同等機種と交換した場合は、交換前の製品の付属品や消耗品をご使用いただけなくなることがあります。

●アイトシステムのホームページ <http://www.aitosys.com>

各種製品情報、サポート案内等の情報を提供しております。

●製品に関するご質問・ご相談

製品に関するご質問・ご相談にメールでお答えします。

【サポート専用メールアドレス】 support@aitosys.com

ご質問・ご相談の際は購入品の製品型名及び製造番号をお知らせください。製品型名及び製造番号は製品裏面のシールに記載されています。



使用した音素材: OtoLogic(<https://otologic.jp>)

本ページの記載の情報は予告なく変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。
最新の情報はアイトシステムのホームページ(<http://www.aitosys.com>)にてご確認ください。

株式会社アイトシステム 〒220-0072 神奈川県横浜市西区浅間町 1 丁目 4 番 3 号ウィザードビル 402